

**HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査報告書**  
**(平成25年度)**

**厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業**  
**HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究**

**研究代表者**

**加藤 真吾 (慶應義塾大学医学部)**

**研究分担者**

**今井 光信 (田園調布学園大学)**

## 1. HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査（H25 年度）

研究分担者	今井光信	（田園調布学園大学）
研究協力者	近藤真規子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	佐野貴子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	大野理恵	（神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班）
	岡部英男	（神奈川県衛生研究所）
	須藤弘二	（慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室）
	加藤真吾	（慶應義塾大学医学部微生物部・免疫学教室）

### 研究概要

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、また、その充実を計るため、全国の保健所等 HIV 無料匿名検査実施施設を対象とした HIV 検査相談の検査・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象とした 579 箇所（保健所及びその支所等）中、493 施設（85%）から回答を得ることができた。

アンケート結果では、平成 25 年の 1 年間に、回答の得られた 493 施設で 93,408 件の HIV 検査が実施され、240 件（0.26%）が陽性であった。陽性 240 件中 224 件（93%）が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、185 件（77%）については、その後医療機関に受診していることが保健所等において確認されていることが分かった。また、感染症法に基づく届出に関しては、平成 25 年に陽性と分かった 240 件中の 146 件（60%）については自施設からの報告が行われていることが分かった。

即日検査の実施状況に関しては、平成 25 年に即日検査を実施した保健所は 337 施設（68%）と昨年 비해微増した。また夜間・土日検査に関しては、夜間検査が 182 施設（37%）で、土日検査が 63 施設（13%）と、昨年とほぼ同じであった。全国的にみると検査相談の実施形態に関してはほぼ定常状態にあることが分かった。

保健所以外の特設の検査相談施設を対象としたアンケート調査では、対象とした 23 施設中 18 施設から回答が得られ、平成 25 年の 1 年間の検査件数は 23,318 件で陽性件数は 142（0.6%）であった。この中で陽性の結果を本人に伝えられたのは 132 件（93%）、その後医療機関に受診したことを確認できた件数は 112（79%）であった。

また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知に関しては、平成 25 年には HIV 検査と STI 検査等で 5 件の誤通知事例があった。誤通知の原因は、結果記入の際の記入ミスが 2 件、受検者に別の受検者の結果を通知してしまった例が 3 件であった。HIV 検査と肝炎検査、梅毒検査、クラミジア検査等と複数の検査が並行して行われていること、また、匿名検査のため受検者の本人確認と検査結果の照合に特別の工夫が必要なことなどが誤通知の要因となっていた。

誤通知のあった保健所では、結果の記載方法の見直しや、受検者番号と結果票の番号の照合方法の見直し等の改善策により再発防止に努めていることが分かった。HIV 検査とともに他の性感染症検査を行う保健所も多く、受検者にとっては利便性が高まる一方、異なる種類の検査が並行して進行するため、検査相談の業務がより複雑化し、誤通知のリスクも高まっているものと思われる。誤通知の防止のためには、システムの見直しとともに、これら事例を参考に一人一人のより一層の注意深い対応が必要である。

本年度は、平成 24 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査で妊婦の HIV 検査相談があったと回答のあった保健所 53 箇所に対して調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯について調査した。その結果、保健所で HIV 検査相談を受けた理由としては、他の感染症に感染しているためも含め、HIV 感染に対する心配によるものがその多くを占めていたが、医療機関で保健所の検査を受けるよう勧められた例も見られた。妊婦は産科医療機関において HIV 検査を受ける機会があるが、HIV の感染不安から保健所での検査・相談を希望する例が少なからずあり妊婦の場合においても、保健所が、その感染不安に対応するための HIV 検査相談検査機関として重要な役割を果たしていることが分かった。また、産科医療機関において、HIV スクリーニング検査やスクリーニング検査陽性後の確認検査を保健所で受けるよう妊婦に勧める事例が現在でも少数ながら存在していることも分かった。妊婦における HIV 感染の状況や保健所及び産科医療機関における妊婦の HIV 感染不安への対応について、今後ともアンケート等により状況を把握し注視していく必要があると思われる。

## A. 目的

保健所等における HIV 検査体制の実状を経年的に把握し、その充実を計るため、全国の保健所等を対象に HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

## B. 方法

全国の保健所およびその支所等 579 箇所の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等 23 箇所の特設 HIV 検査相談施設を対象に、平成 26 年 1 月 4 日に HIV 検査相談（H25 年）に関するアンケート調査票（資料 1 参照）を郵送し、平成 26 年 1 月 24 日を締め切り日として、返送用封筒によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

また、平成 24 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査に回答した保健所 481 施設のうち、設問 2.

④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所 53 箇所に対して調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯について調査した。

## C. 結果

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 579 施設中 493 施設からアンケート結果が返送され、アンケートの回収率は 85%であった。また、特設検査相談機関については、対象とした 23 施設中 18 施設（78%）からアンケート結果を回収できた。

### ① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった 493 保健所等施設の全てが HIV 検査相談を実施していた。

### ② HIV 検査総数と陽性率

上記保健所等施設で平成 25 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 93,408 件で、陽性例は 240 例（0.26%）であった。

### ③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率（図 2、3）

HIV 検査陽性の 240 例において、受検者が陽性の確認検査を受け取りに再来所したのは 224 例（93%）であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 185 例であり、陽性結果を伝えられた 224 例中の 83%、全陽性 240 例中の 77%であった。

### ④ HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、平成 25 年に陽性と分かった 240 件中の 146 件（61%）については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の

医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

#### ⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査以外の性感染症検査に関しては422 施設（86%）の保健所等で実施しており、その内訳は、梅毒検査 320 施設（76%）、クラミジア抗体 209 施設（50%）、クラミジア抗原 113 施設（27%）、淋菌 48 施設（11%）、B 型肝炎 333 施設（79%）、C 型肝炎 325 施設（77%）であった。梅毒検査及び B 型肝炎と C 型肝炎のウイルス検査に関しては、70%を上回る施設で実施されていることが分かった。

#### ⑥ 即日検査の実施状況

即日検査のみ実施している施設が 212 施設（43%）、即日検査と通常検査を行っている施設が 125 施設（25%）、通常検査のみ行っている施設は 156 施設（32%）であり、68%の施設が即日検査を導入していることが分かった。

#### ⑦ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

HIV 検査相談を実施している全国 493 保健所で、平日・昼間にのみ検査を行っている保健所が 248 施設（50%）、平日夜間検査を行っている保健所が 182 施設（37%）、土曜・日曜検査を行っている保健所が 63 施設（13%）であり、その比率はここ数年ほぼ一定であった。

#### ⑧ 検査法と実施時間の組み合わせ

検査法と実施時間との組み合わせでは、通常平日の検査は 116 施設（24%）、通常夜間が 35 施設（7%）、通常土日が 5 施設（1%）であり、即日平日が 102 施設（21%）、即日夜間が 84 施設（17%）、即日土日が 26 施設（5%）であり、両検査平日が 30 施設（6%）、両検査夜間が 63 施設（13%）、両検査土日が 32 施設（7%）であった。これらの結果から、多くの検査施設が昨年同様、より利便性の高い検査相談の提供に努めていることが分かった。

#### ⑨ 年間検査件数別の保健所分布

年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 177 箇所（36%）、50 件以上 100 件未満は 91 箇所

（18%）、100 件以上 200 件未満は 98 箇所（20%）、200 件以上 500 件未満は 84 箇所（17%）、500 件以上 1000 件未満は 31 箇所（6%）、1000 件以上は 12 箇所（2%）であった。

#### ⑩ 年間検査件数別の保健所数とその検査数

年間検査件数が 200 件以上の保健所数は 127 箇所（26%）であったが、そこで実施された検査件数は検査総数の 74%を占めており、また、年間 500 件以上の施設は 9%であるが、それら施設における検査数は全検査数の 46%を占めていた。これらの比率は昨年とほぼ同様であった。

#### ⑪ 年間検査件数別の陽性率

保健所等の HIV 検査相談における陽性率は、平均では 0.26%であり、年間検査数別に調べると、検査数 50 件未満の保健所では 0.10%、検査数 50-99 件の保健所では 0.17%、100-199 件の施設では 0.18%、200-499 件の施設では 0.24%、500-999 件の施設では 0.29%、1000 件以上の施設では 0.35%と、検査数の多い施設ほど陽性率も高くなる傾向がみられた。

#### ⑫ 予約制の有無

予約制の有無に関しては通常検査の実施施設の 58%、即日検査の実施施設の 81%が予約制を実施しており、またその場合、通常検査では 37%、即日検査では 73%が上限をもうけていた。即日検査では検査の混乱を防ぐため、予め上限数を設定した予約制を採用している保健所が多いものと思われる。

#### ⑬ HIV 検査（スクリーニング検査と確認検査）の実施施設

通常検査における、スクリーニング検査の場合、自保健所での実施が 16%、他の保健所への委託が 12%、衛生研究所への委託が 40%、外部委託による検査は 30%であった。また、確認検査に関しては、衛生研究所への依頼が 68%で、外部委託は 23%であった。即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が 65%、医師、保健師が 18%であった。

#### ⑭ 結果説明について

結果説明の担当者（複数回答可）に関しては、陰性時には医師が41%、保健師が71%であり、迅速検査陽性時には、医師が85%、保健師が78%で、確認検査陽性時には97%とほぼ全ての施設で医師が担当し、75%では保健師も加わっていた。また、感染予防のための行動変容を働きかける相談に関しては、94%の施設において行われており、78%では全員に、20%の施設では一部を対象に行われていた。陽性者への説明に関しては、全施設の77%で説明資料を用意してあるとの回答であった。陽性者への説明のマニュアルについては67%の施設でありとの回答で昨年に比べ8%の上昇がみられた。

#### ⑮ 特設検査相談施設における検査相談

18 箇所の特設検査相談機関での検査総数は23,318件で、陽性例は142例（0.6%）であった。これら陽性例において、受検者が陽性の確認結果を受け取りに再来所したのは132例（93%）であった。

また、この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は112例であり、陽性結果を伝えられた132例中の85%、全陽性例中の79%であった。

#### ⑯ HIV等の検査結果の誤通知について

平成25年には、HIV、STI検査の結果の誤通知事例が5件あったことが分かった。2件は検査結果の記入ミスにより発生したものであり、他の3件は別の受検者の結果を誤って通知してしまったものであった。検査結果の記入ミスについては、記録用紙の書式を改めるとともに、結果の記録を複数で点検するなどの改善策により再発防止を図ったとのことであった。

また、別の受検者の結果を誤って渡してしまった事例では、受検者と検査結果通知書の番号等の照合を、ダブルチェックを含め確実にできるようなシステムの見直しを図ることで誤通知の再発防止に努めているとのことであった。

#### ⑰ 妊婦 HIV 検査に関する 2 次調査

平成24年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査に回答した保健所481施設のうち、設問2.④「H. 昨年1年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年1年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所53箇所に対して調査票を送り、34箇所（64%）から回答があった。相談のみ事例が12例、検査のみ事例が8例、相談＋検査事例が14例であった。保健所で検査相談を受けた理由としては、他の感染症に感染しているためも含め、HIV感染に対する心配によるものがその多くを占めていたが、医療機関で保健所の検査を受けるよう勧められた例も見られた。

#### D. まとめと考察

平成20年をピークに、その後は新型インフルエンザ、東日本大震災等の影響もあり、国民全体の HIV への関心が下がり、保健所等における HIV 検査相談数も平成21-22年と大きく減少したが、その後は横ばい傾向が続いており、今回の保健所アンケート調査においても検査数・陽性数ともにほぼ横ばいの状況にあることが分かった。

今回行った全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所の協力により、対象とした579保健所等施設の85%、493施設から回答を得ることができた。

アンケート結果では、HIV検査を実施している全国493施設で、平成25年に93,408件のHIV検査が実施され、そのうち240件（0.26%）が陽性であった。陽性例のうち、224件（93%）が再来所して陽性の結果を受け取っており、185件（77%）については、その後医療機関に受診していることが保健所において確認されていることが分かった。検査数と陽性数は昨年に比べやや増加し、医療機関に繋がったことの確認ができた率は昨年の68%に比

べ9%の上昇がみられた。

また、HIV 検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査や夜間、土日検査等受検者に利便性の高い時間帯の検査を実施している保健所等の比率がかなり高くなっており、通常検査で平日昼間のみの保健所は全体の24%と少なかった。

また、本年はHIV等の検査結果の誤通知事例が5件あったことが分かった。2件は検査結果の記入ミスであり、3件は別の受検者の結果を伝えてしまったというミスであった。

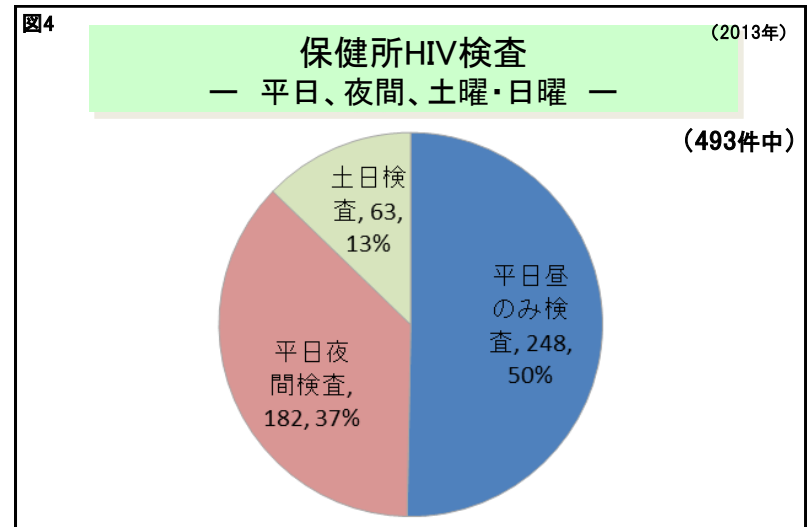
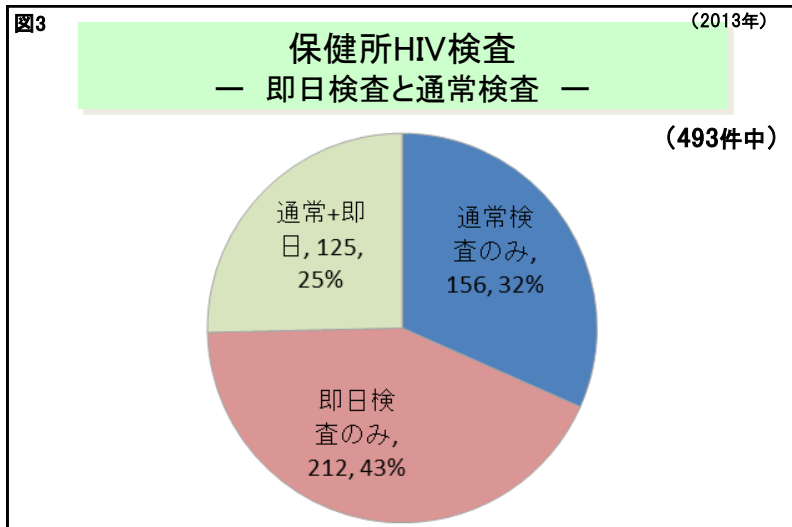
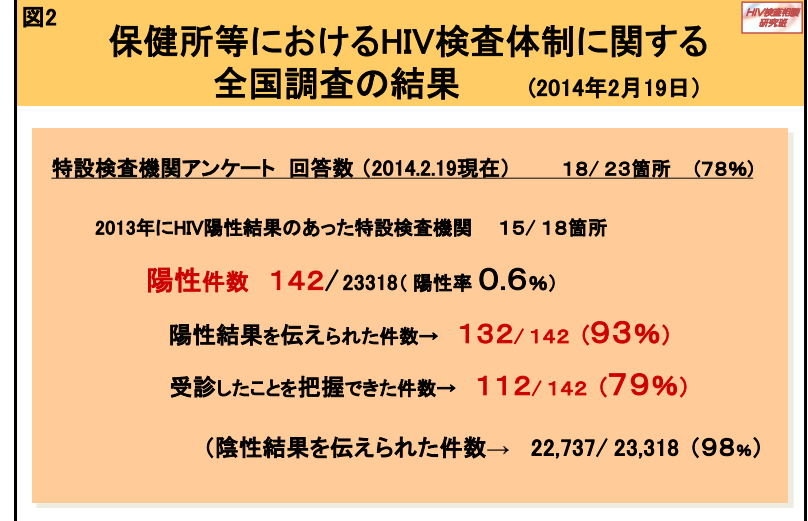
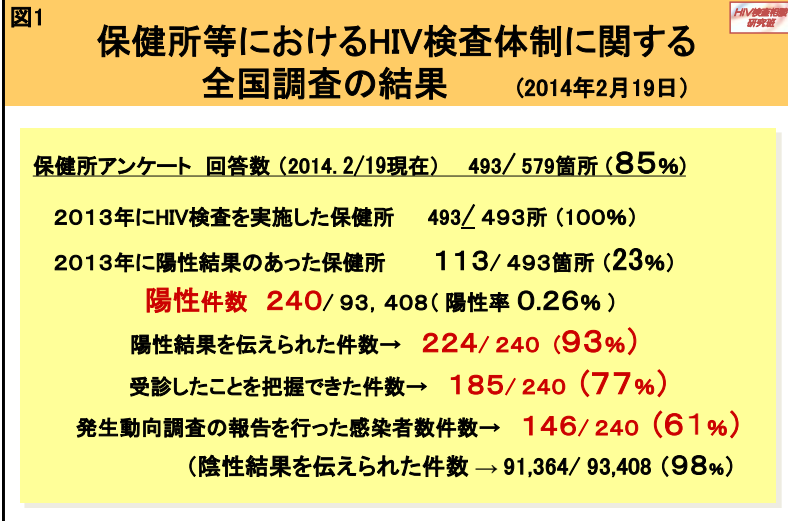
検査結果の記入ミスは、同時に並行して行っている複数検査（HIV検査、B型肝炎検査、C型肝炎検査、梅毒検査、クラミジア検査等）の記入欄の陰性・陽性の記入欄の順序が統一されていないことも発生要因の一つと考えられたため、その統一を図るとともに、結果の読み取りと記入をダブルチェックできる体制をとるなどの改善策により再発防止を図っていた。また、別の受検者の結果を渡してしまうことによるミスについては、検査結果を渡す際に受検者番号の確認を確実にを行うための体制の見直しを図ることで再発防止に努めていることが分かった。匿名検査であることから本人確認には困難を伴うことから、受検者番号や受検者本人の記載した記号・番号等を用いた確認など、受検者の本人確認には工夫が必要であり、誤通知の防止のためには検査相談に関わる担当者一人ひとりの細心の注意が必要である。

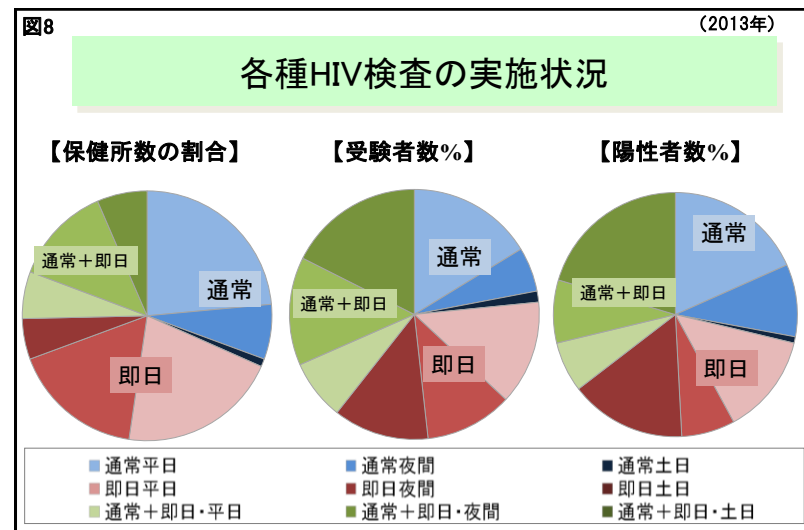
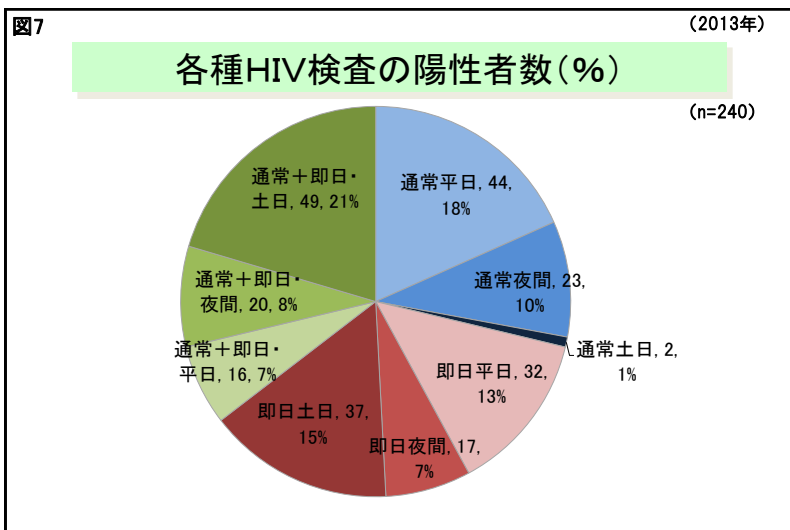
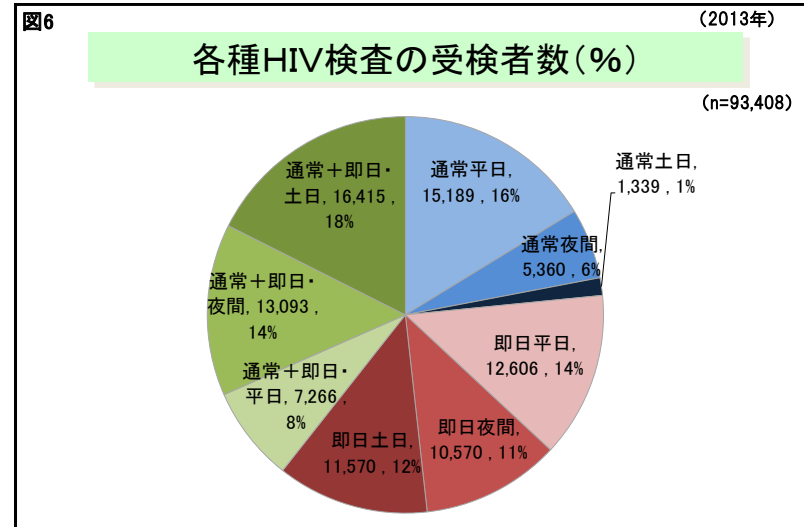
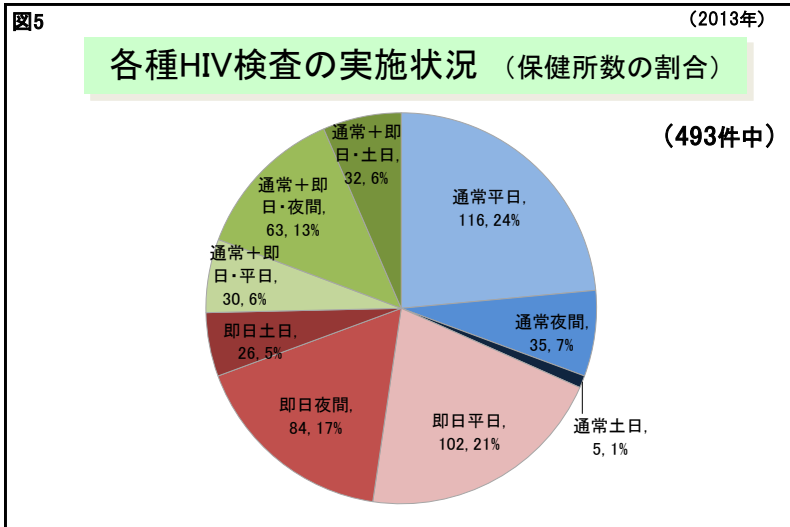
誤通知の発生は、当事者への影響とともに、HIV 検査相談事業全体への信頼に大きな影響を及ぼすため、その再発防止に向けての取り組みは、HIV 検査相談の利便性を高める取り組みと共に、極めて重要な課題である。本研究班においても、アンケート調査による実態把握を続けるとともに、情報提供やマニュアルの作成・普及を通じて、検査相談体制の充実に向けてさらに寄与できるよう努めて行きたい。

平成24年度に実施した「保健所におけるHIV検査体制に関する全国調査」のアンケート調査で妊婦のHIV検査相談があったと回答した保健所53箇所に対して、妊婦が保健所でHIVの相談・検査を受けた理由と経緯について調査をしたところ、他の感染症に感染しているためも含め、HIV感染に対する心配によるものがその多くを占めていたが、医療機関で保健所の検査を受けるよう勧められた例も見られた。妊婦は産科医療機関においてHIV検査を受ける機会があるが、HIVの感染不安から保健所での検査・相談を希望する例が少なからずあることが分かった。保健所は妊婦の場合においても、時に、その感染不安に対応するためのHIV検査相談検査施設として重要な役割を果たしていることがわかった。また、産科医療機関において、HIVスクリーニング検査やスクリーニング検査陽性後の確認検査を保健所で受けるよう妊婦に勧める事例が現在でも少数ながら存在していることも分かった。妊婦におけるHIV感染の状況や保健所及び産科医療機関における妊婦のHIV感染不安への対応については、今後ともアンケート等により状況を把握しその動向を注視していく必要があると思われた。

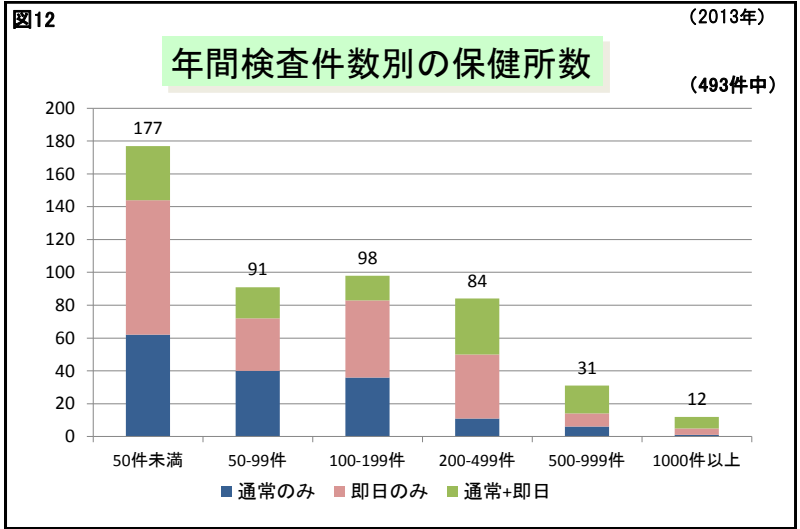
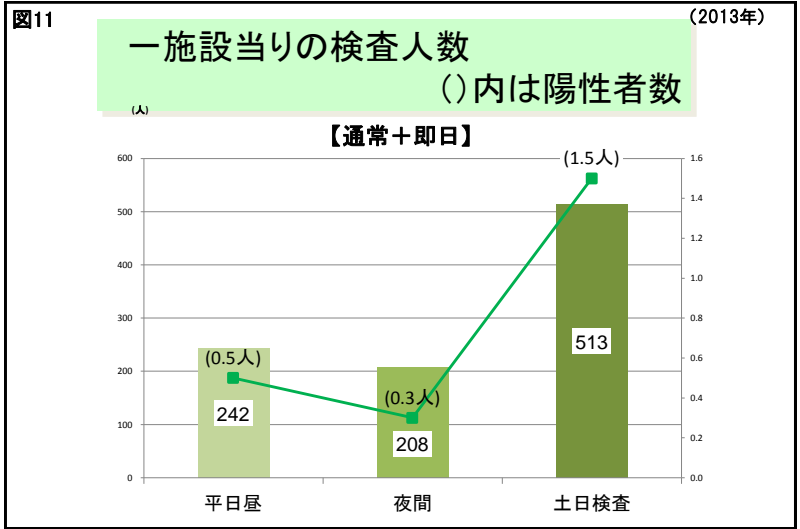
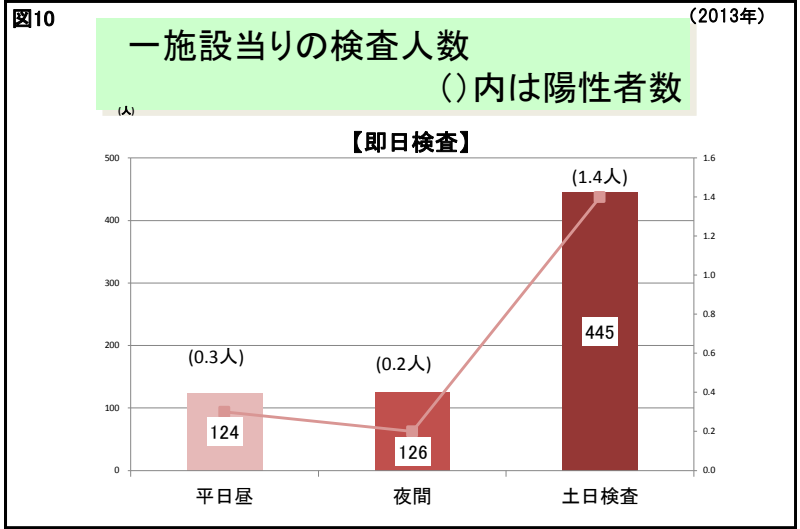
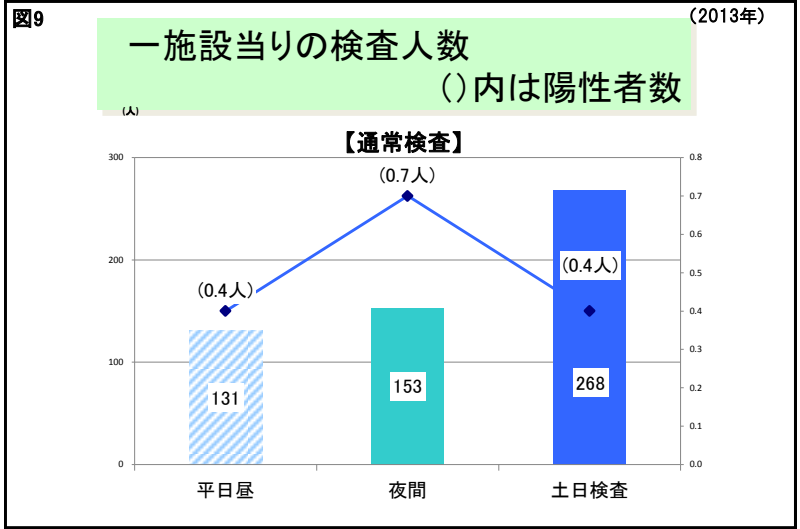
## 謝辞

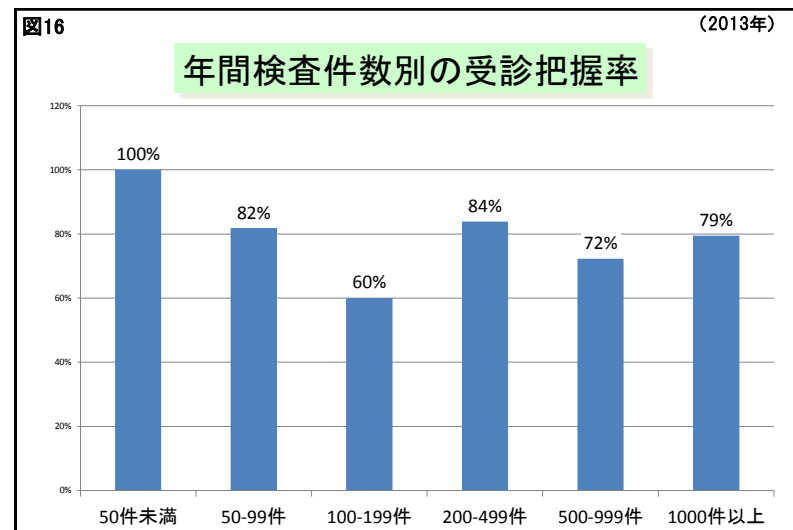
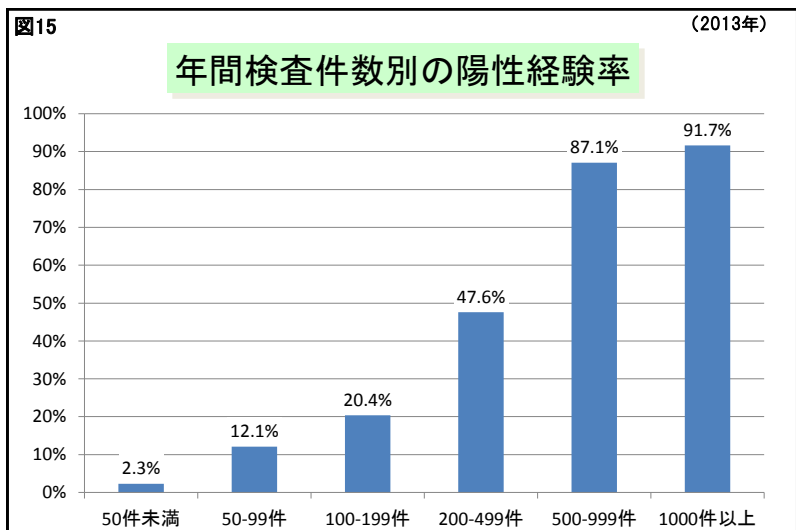
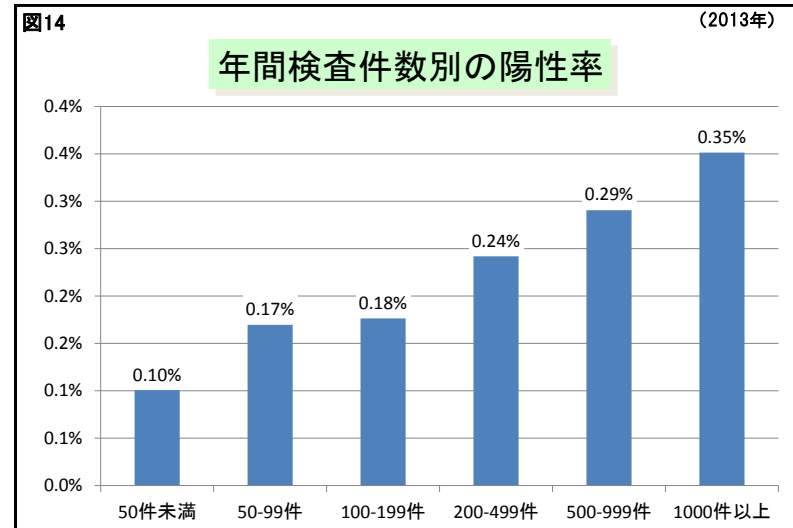
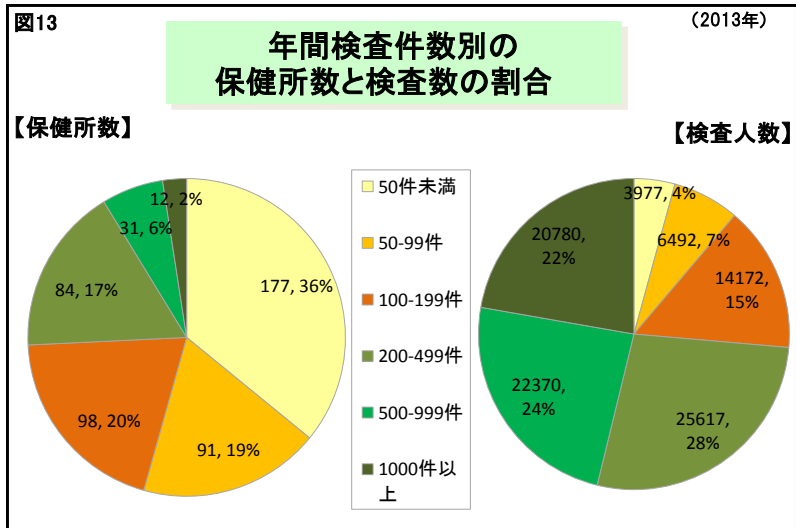
保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所等関係者の皆様方に深く感謝致します。

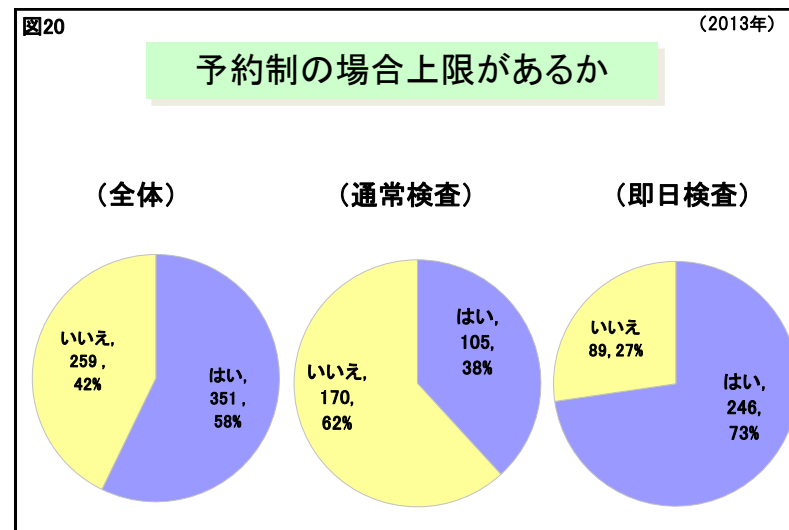
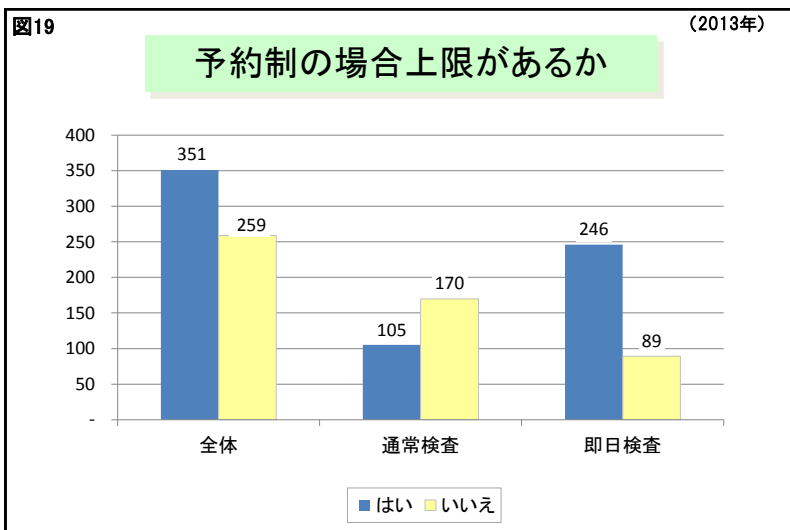
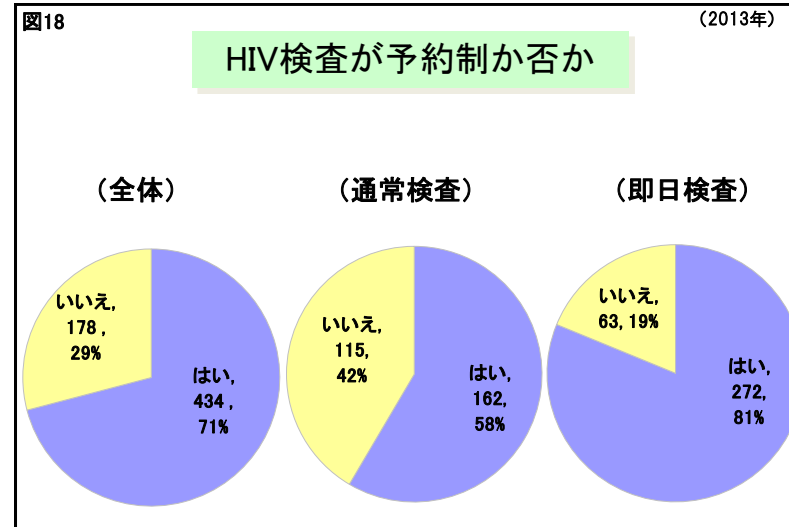
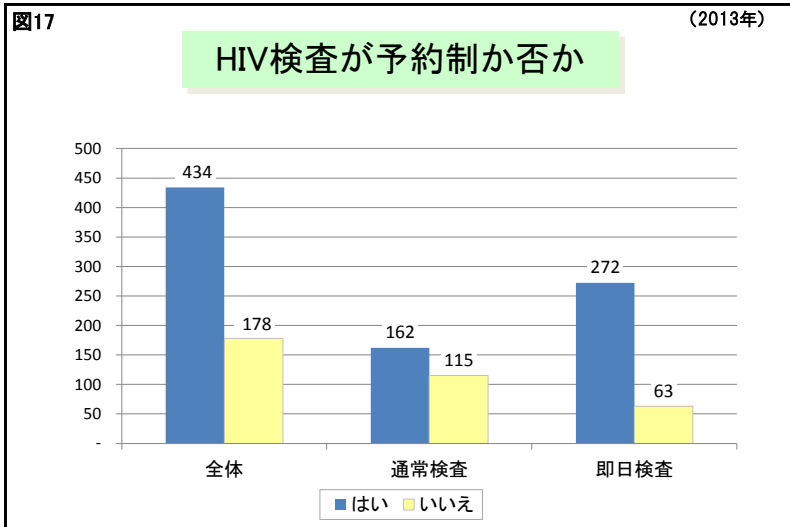


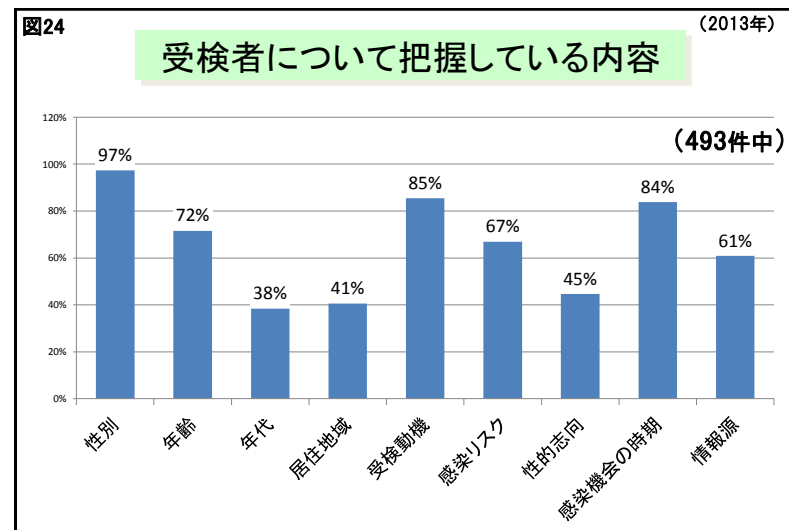
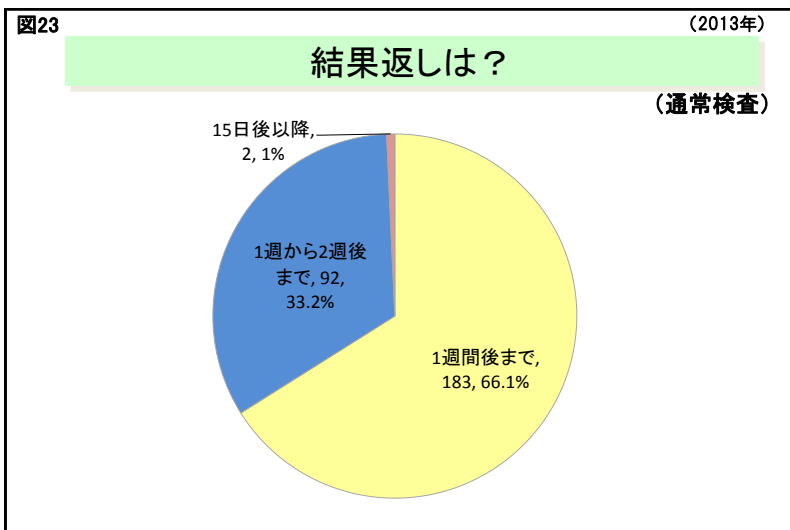
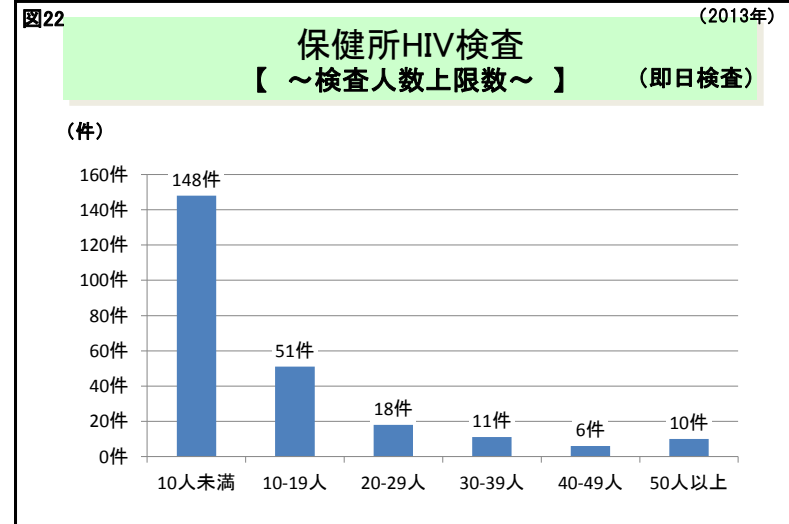
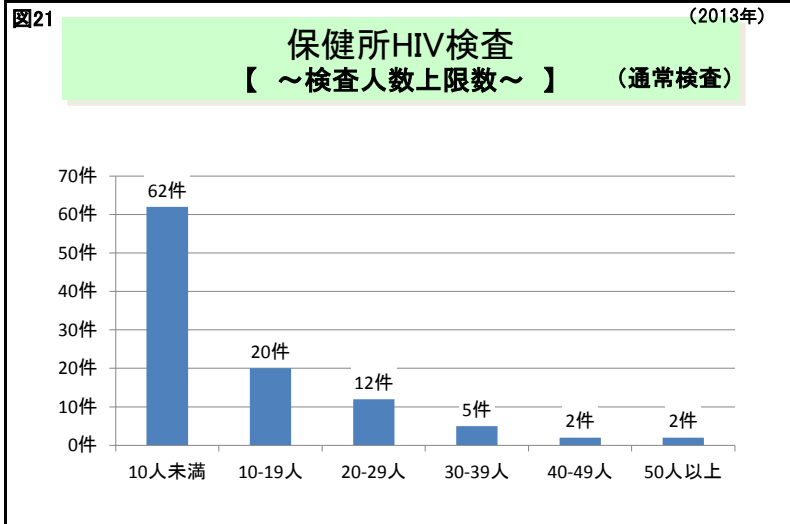












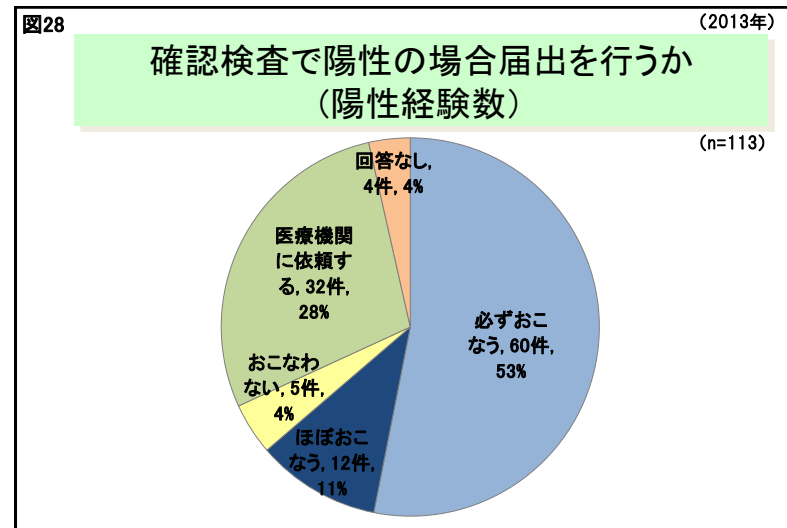
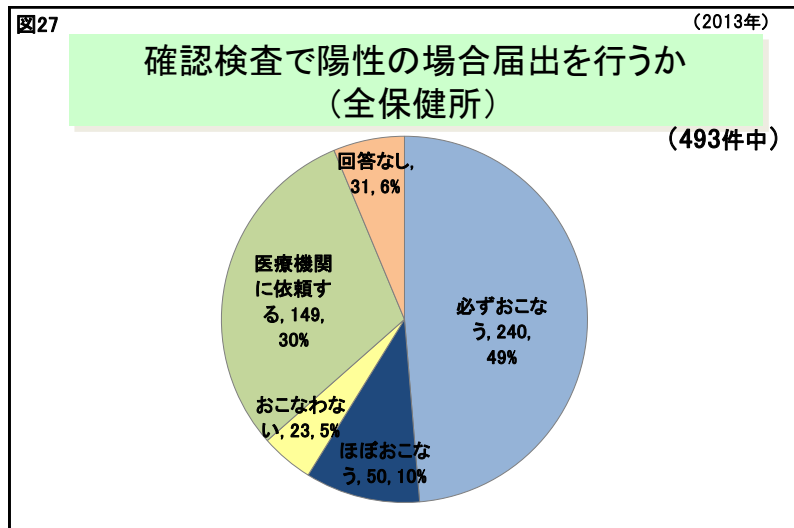
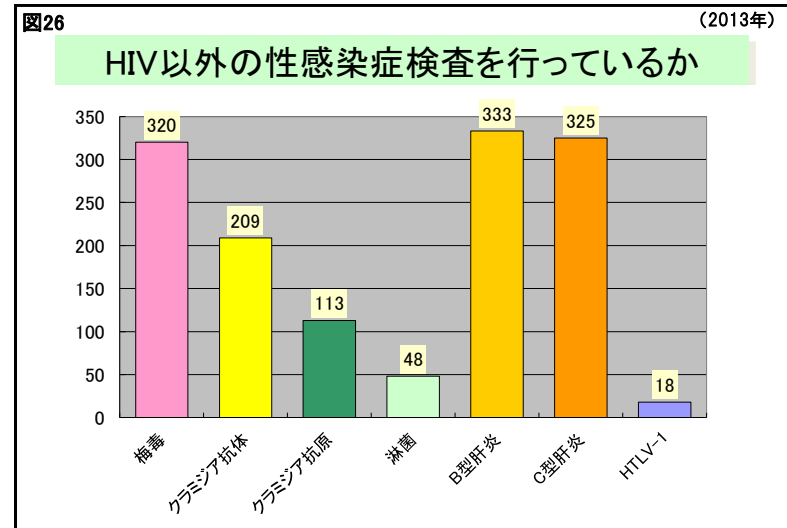
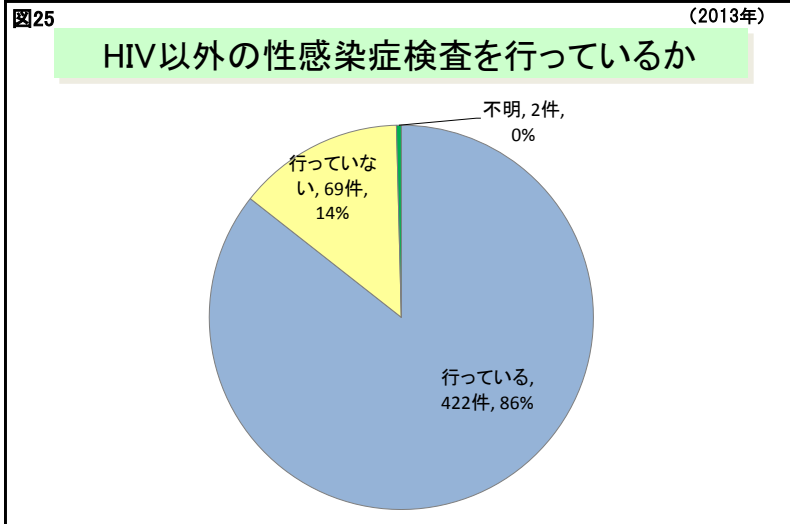
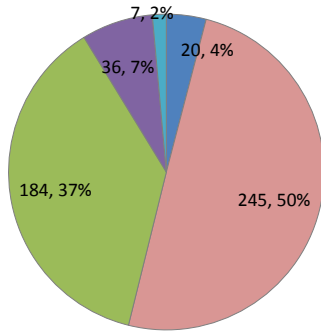


図29

(2013年)

### 検査陽性時の結果通知と 確認検査検体は？ (通常検査)



- a. 受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する
- b. スクリーニング検査陽性の場合には確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。
- 採血→スクリーニング検査用1本のみ
- 採血→スクリーニング検査用と確認検査用で2本
- その他

図30

(2013年)

### 確認検査の方法は？ (通常、即日共通)

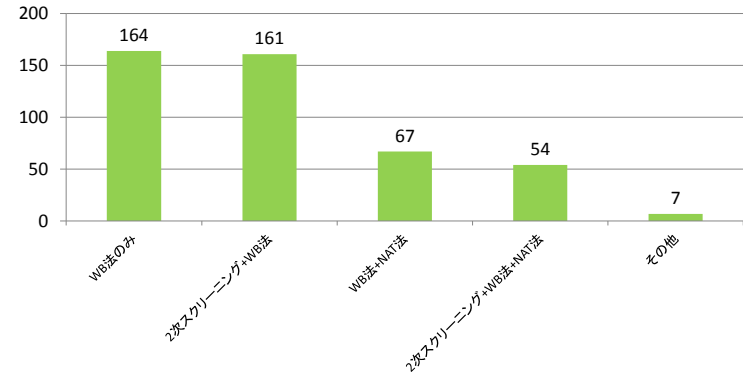


図31

(2013年)

### 保健所HIV検査 【確認検査の実施施設は？】 (通常検査)

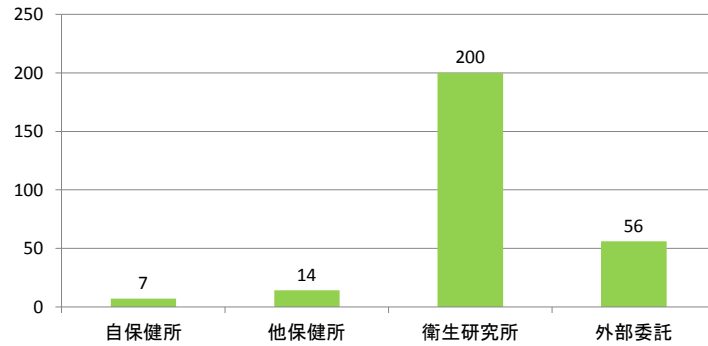
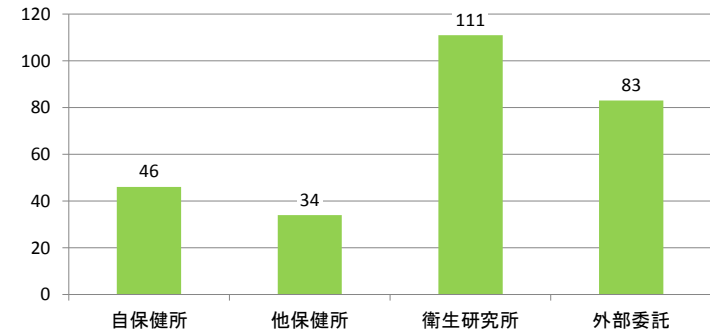
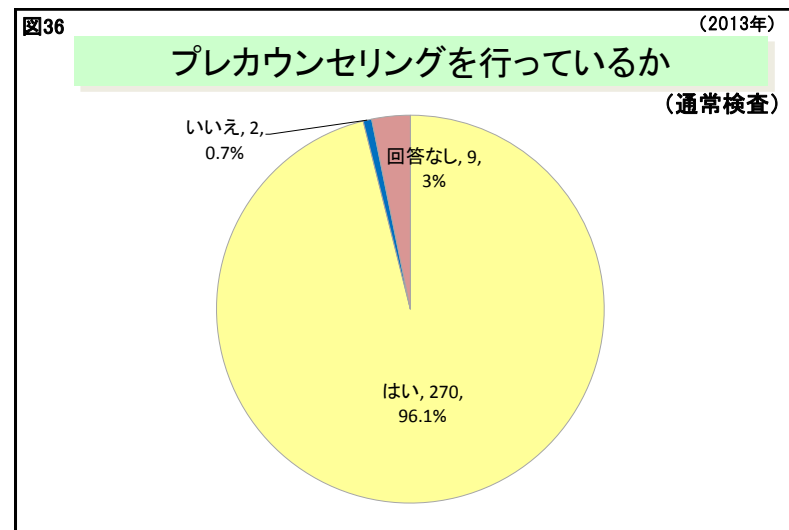
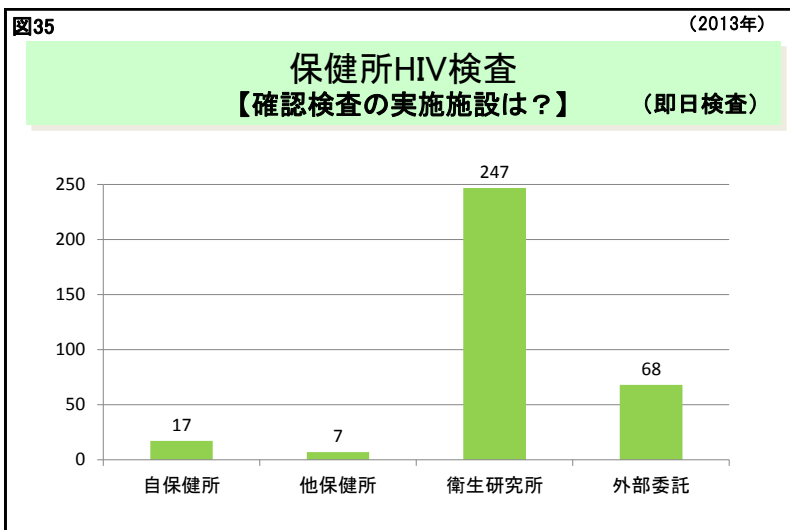
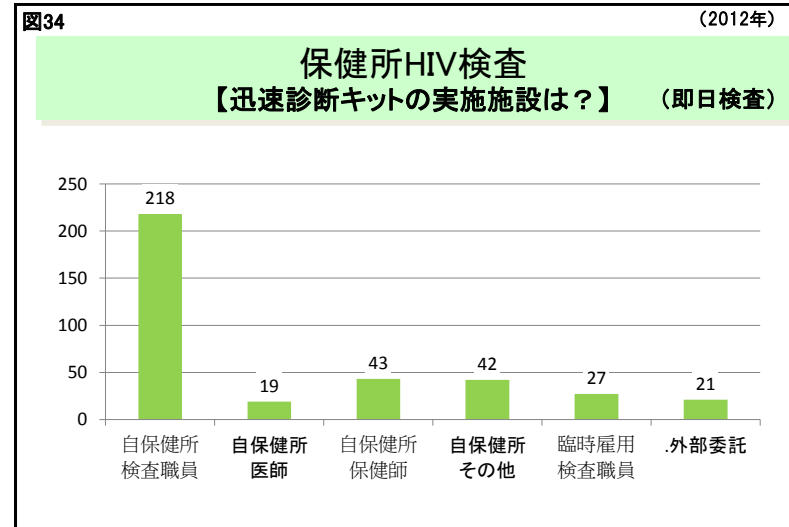
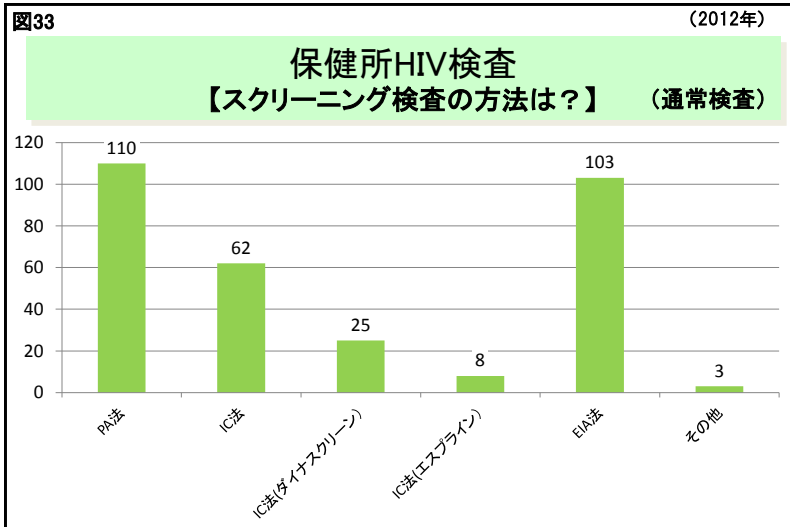


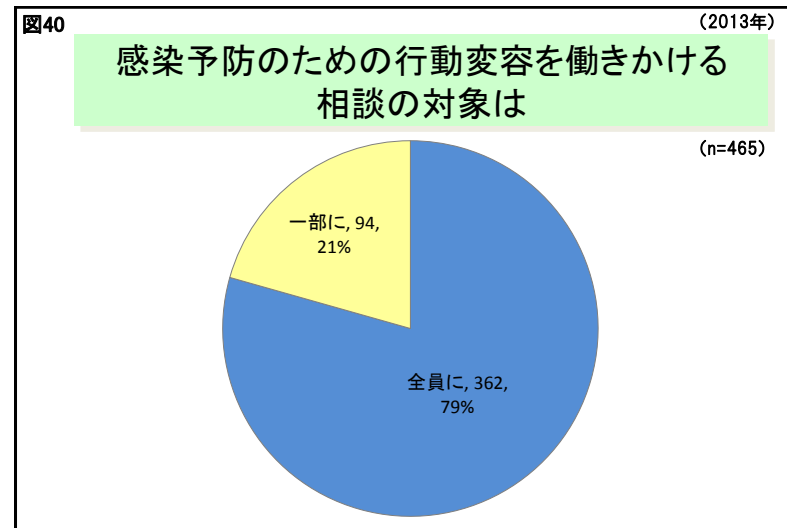
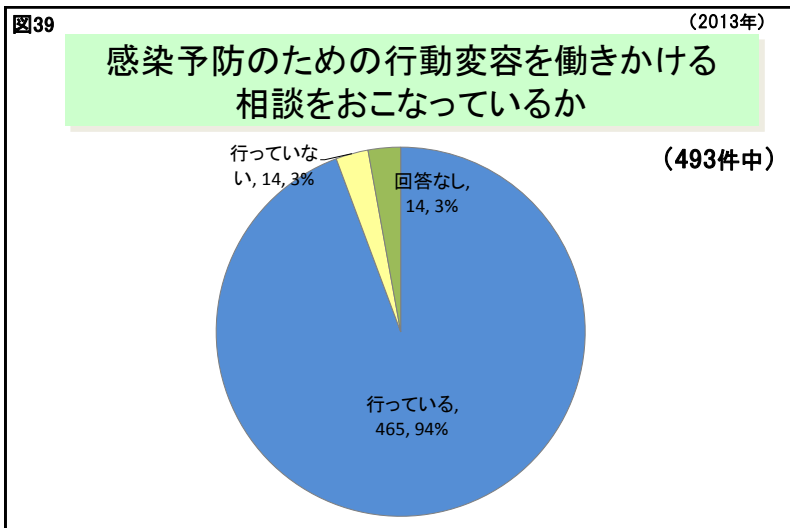
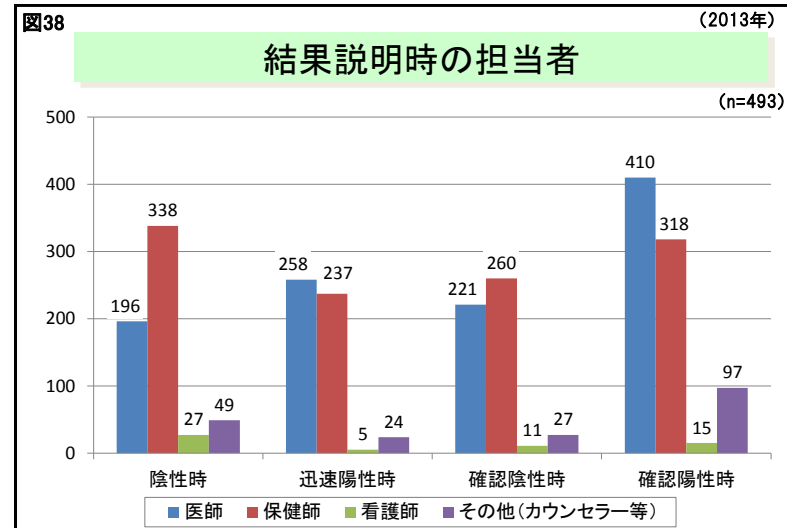
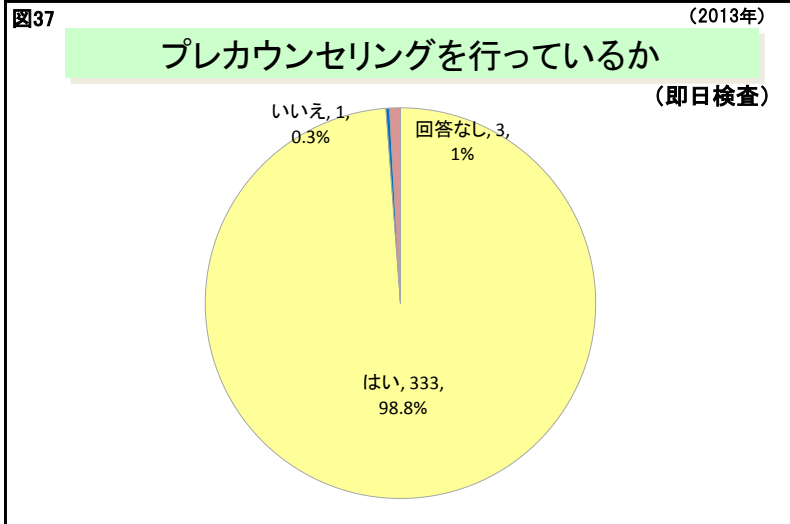
図32

(2013年)

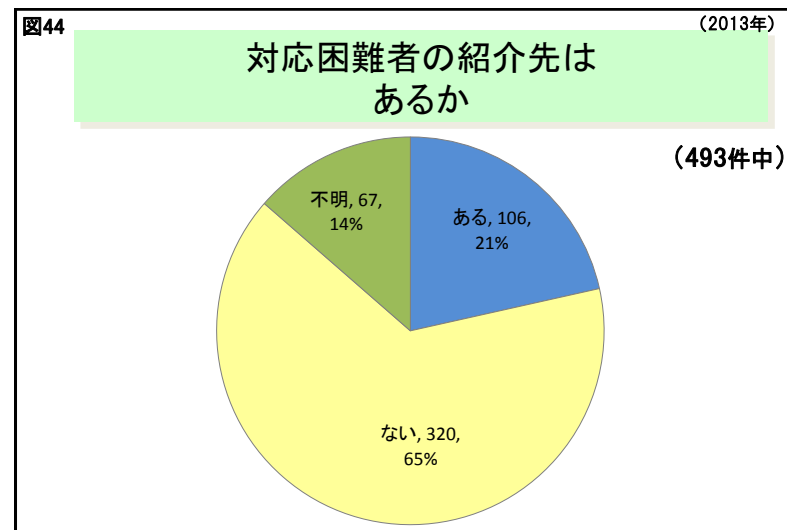
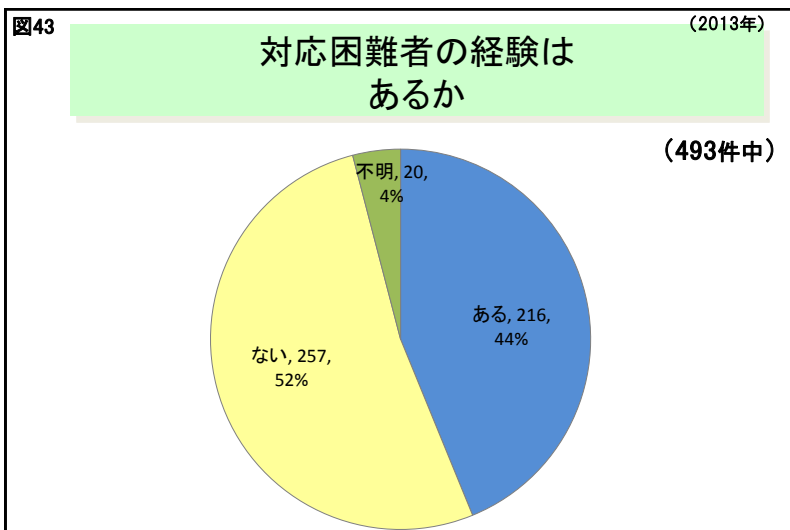
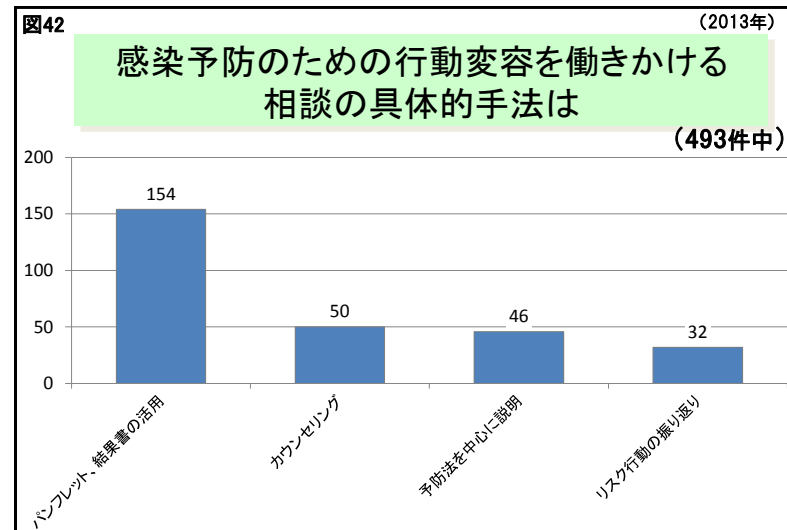
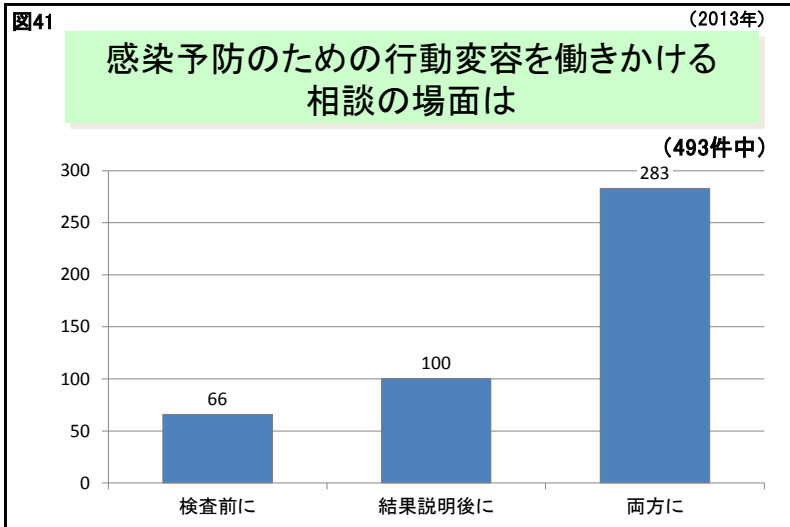
### 保健所HIV検査 【スクリーニング検査の実施施設は？】 (通常検査)

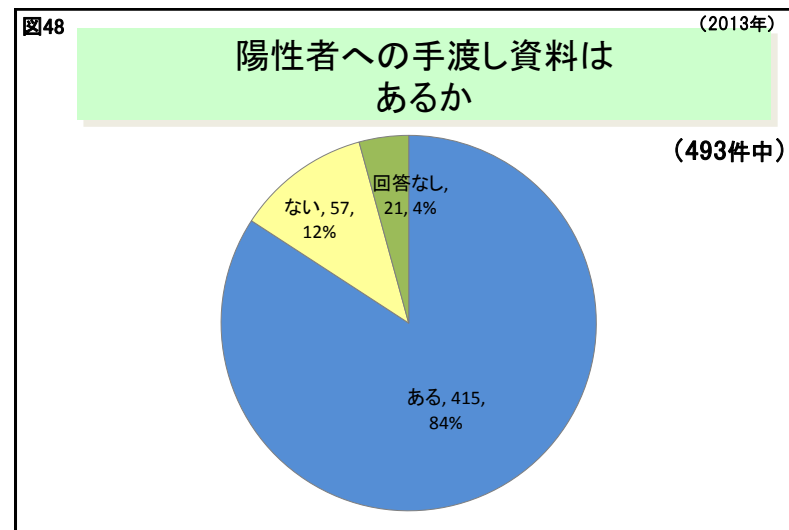
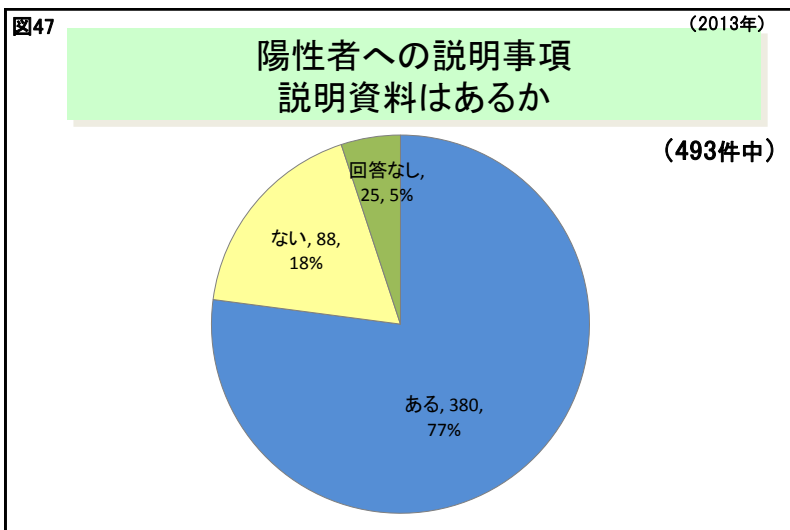
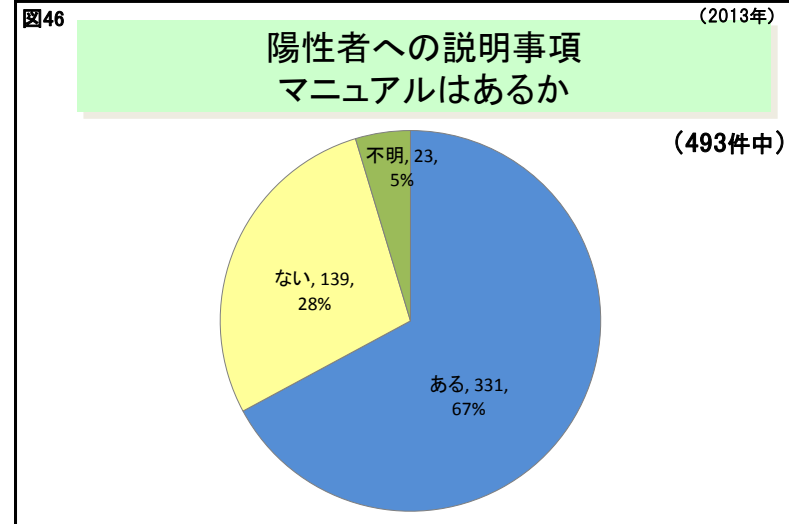
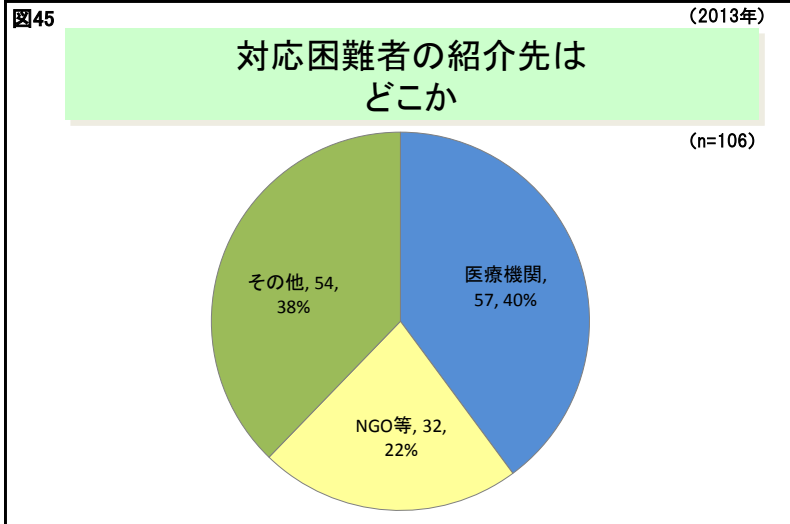


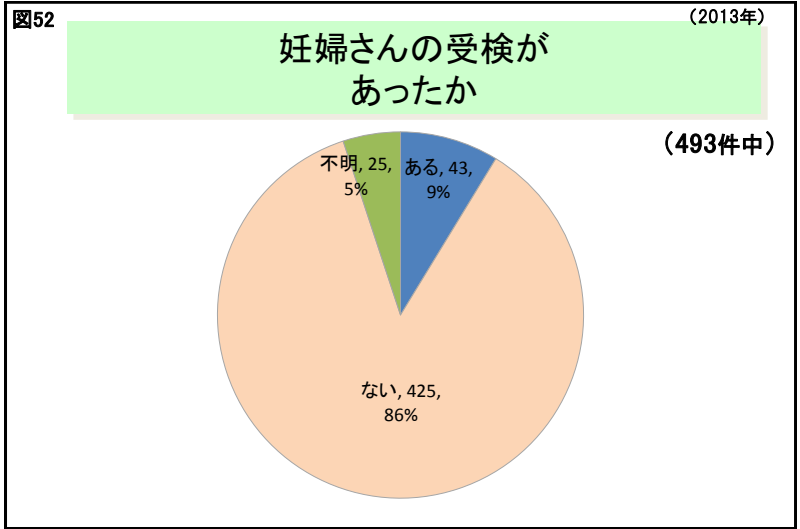
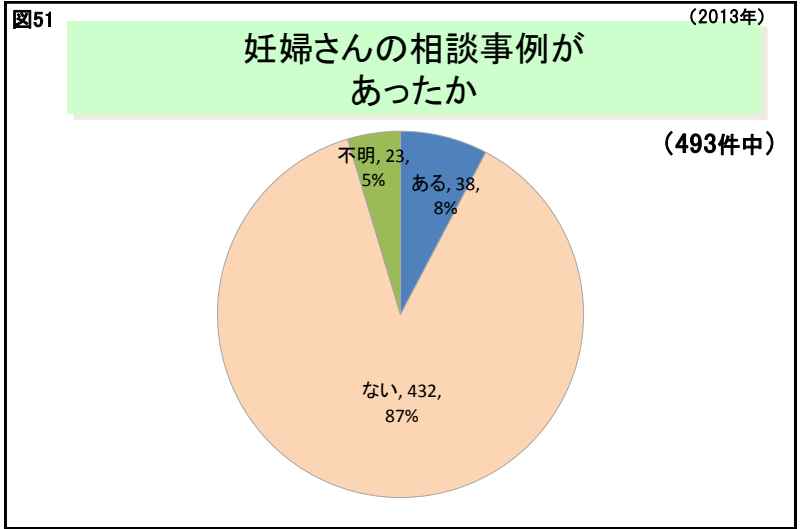
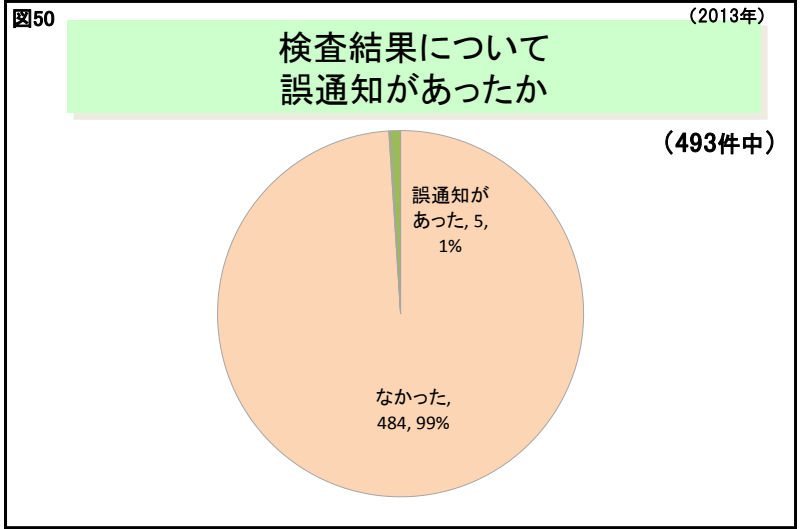
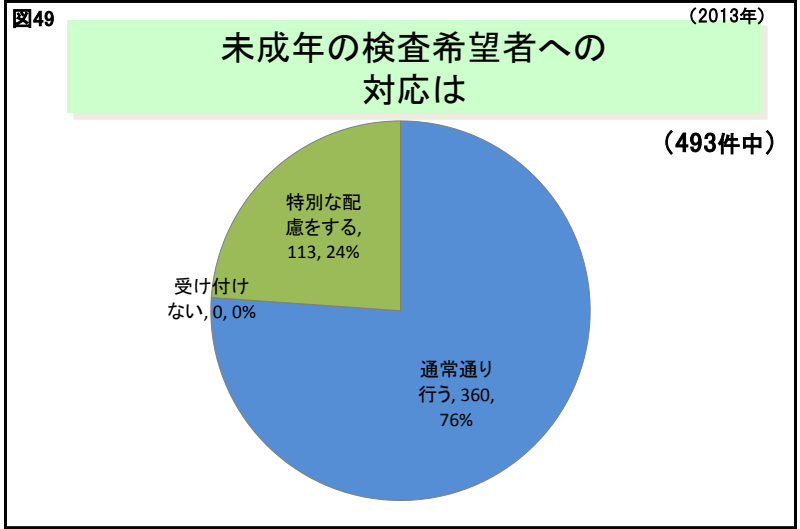












1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？

493

アンケート送付数  
回収数

579  
493

85.1%

はい	493件	100.0%
----	------	--------

「はい」と答えた保健所 → 平成25年1～12月の実施状況をお教え下さい。(n=493)

① HIV検査件数

検査数	93,408人
うち陽性数	240人
陽性率	0.26%

陽性経験数

陽性者があった保健所	113件	22.9%
陽性者がなかった保健所	380件	77.1%
回答なし		

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
50件未満	177	35.9%	3,977	4.3%	4	0.10%	2.3%	4
50-99件	91	18.5%	6,492	7.0%	11	0.17%	12.1%	11
100-199件	98	19.9%	14,172	15.2%	25	0.18%	20.4%	20
200-499件	84	17.0%	25,617	27.4%	62	0.24%	47.6%	40
500-999件	31	6.3%	22,370	23.9%	65	0.29%	87.1%	27
1000件以上	12	2.4%	20,780	22.2%	73	0.28%	91.7%	11
回答なし		0.0%						

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数: 1,820人 (1.95%)

③ HIV検査での結果確認 (陰性者、陽性者別):

	陰性		陽性	
結果を聞きにきた	91,364人	98.1%	224人	93.3%
結果を聞きにこなかった	1,804人	1.9%	16人	6.7%

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験保健所	
ある	268	54.4%	75件	66.4%
ない	215	43.6%	33件	29.2%

(n=113)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 185人 (77.1%)

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数 146人 (60.8%)

2. 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えてください。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	422件	85.6%
行っていない	69件	14.0%
不明	2件	0.4%

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に丸をしてください (n=422)

梅毒	320	75.8%
クラミジア抗体	209	49.5%
クラミジア抗原	113	26.8%
淋菌	48	11.4%
B型肝炎	333	78.9%
C型肝炎	325	77.0%
HTLV-1	18	4.3%

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。(n=493)

1 通常検査のみ	156	31.6%
2 即日検査のみ	212	43.0%
3 通常+即日	125	25.4%

A 平日昼のみ検査	248	50.3%
B 平日夜間検査	182	36.9%
C 土日検査	63	12.8%

1A 通常のみ+平日昼のみ	116	23.5%
1B 通常のみ+夜間も行っている	35	7.1%
1C 通常+土日検査も	5	1.0%
2A 即日のみ+平日昼のみ	102	20.7%
2B 即日のみ+夜間も行っている	84	17.0%
2C 即日+土日検査も	26	5.3%
3A 通常+即日・平日昼のみ	30	6.1%
3B 通常+即日・夜間も行っている	63	12.8%
3C 通常+即日・土日検査も	32	6.5%

493

② ア 通常検査の場合 (n=281)

A. 予約制ですか？

はい	162	57.7%
いいえ	115	40.9%

B. 1回あたり上限はありますか？ (n=281)

はい	105	37.4%
いいえ	170	60.5%
回答なし	6	2.1%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数		
10人未満	62件	148件
10-19人	20件	51件
20-29人	12件	18件
30-39人	5件	11件
40-49人	2件	6件
50人以上	2件	10件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	270	96.1%
いいえ	2	0.7%
回答なし	9	3.2%

D. 結果返しは？

1週間後まで	183	65.1%
1週から2週間後まで	92	32.7%
15日後以降	2	0.7%

## E.スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	46	16.4%
他保健所	34	12.1%
衛生研究所	111	39.5%
外部委託	83	29.5%

## F.スクリーニング検査の方法は？

PA法	110	39.1%
IC法	62	22.1%
IC法(ダイナスクリーン)	25	8.9%
IC法(エスブライン)	8	2.8%
EIA法	103	36.7%
その他	3	1.1%

## G.確認検査の実施施設は？

自保健所	7	2.5%
他保健所	14	5.0%
衛生研究所	200	71.2%
外部委託	56	19.9%

## H.検査陽性時の結果通知と確認検査検体は？

a.受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する	20	7.1%
b.スクリーニング検査陽性の場合には確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。	245	87.2%
採血→スクリーニング検査用1本のみ	184	
→スクリーニング検査用と確認検査用で2本	36	
その他	7	2.5%

## ② イ即日検査の場合

(n=337)

## A.予約制ですか？

はい	272	80.7%
いいえ	63	18.7%

## B. 1回あたり上限はありますか？

はい	246	73.0%
いいえ	89	26.4%

## 上限がある場合、平均人数と分布

平均数	
10人未満	148件
10-19人	51件
20-29人	18件
30-39人	11件
40-49人	6件
50人以上	10件

C. プレカウニングを行っているか？

はい	333	98.8%
いいえ	1	0.3%
回答なし	3	0.9%

D. 迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	188	55.8%
2週間後	111	32.9%
その他	24	7.1%
回答なし	14	4.2%

E. 迅速診断キットの検査実施は？

a. 自保健所 検査職員	218	64.7%
a. 自保健所 医師	19	5.6%
a. 自保健所 保健師	43	12.8%
a. 自保健所 その他	42	12.5%
b. 臨時雇用 検査職員	27	0.0%
b. 臨時雇用 医師	0	0.3%
b. 臨時雇用 保健師	1	2.1%
b. 臨時雇用 その他	7	6.2%
c. 外部委託	21	0.0%

F. 確認検査 実施施設は？

自保健所	17	5.0%
他保健所	7	2.1%
衛生研究所	247	73.3%
外部委託	68	20.2%

G. 確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	229	68.0%
確認検査用再採血	100	29.7%
迅速検査用と同時	60	
結果通知後	43	

③ 確認検査の方法は？（通常、即日共通）

(n=493)

WB法のみ	164	33.3%
2次スクリーニング+WB法	161	32.7%
WB法+NAT法	67	13.6%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	54	11.0%
その他	7	1.4%

④ 受検者について把握している内容は？

(n=493)

性別	480	97.4%
年齢	353	71.6%
年代	189	38.3%
居住地域	200	40.6%
受検動機	421	85.4%
感染リスク	330	66.9%
性的志向	220	44.6%
感染機会の時期	413	83.8%
情報源	300	60.9%
その他	77	15.6%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

(n=493)

活用している	289	58.6%
活用していない	145	29.4%

⑤ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	474		305		358		424	
医師	196	41.4%	258	84.6%	221	61.7%	410	96.7%
保健師	338	71.3%	237	77.7%	260	72.6%	318	75.0%
看護師	27	5.7%	5	1.6%	11	3.1%	15	3.5%
その他(カウンセラー等)	49	10.3%	24	7.9%	27	7.5%	97	22.9%

迅速検査陽性時、手渡し資料がありますか？

ある	254件	51.5%
ない	44件	8.9%
無回答	195件	39.6%

B. 陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	331件	67.1%
ない	139件	28.2%
不明	23件	4.7%

C. 陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=113)	
ある	380件	77.1%	81件	71.7%
ない	88件	17.8%	24件	21.2%
回答なし	25件	5.1%	8件	7.1%

D. 陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=113)	
ある	415件	84.2%	99	87.6%
ない	57件	11.6%	8	7.1%
回答なし	21件	4.3%	6件	5.3%

E. 確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=113)	
必ずおこなう	240件	48.7%	60件	53.1%
ほぼおこなう	50件	10.1%	12件	10.6%
おこなわない	23件	4.7%	5件	4.4%
医療機関に依頼する	149件	30.2%	32件	28.3%
回答なし	31件	6.3%	4件	3.5%

F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？ (n=493)

行っている	465	94.3%
行っていない	14	2.8%
回答なし	14	4.2%

対象は？

全員に	362	77.8%
一部に	94	20.2%

(n=465)

場面は？

検査前に	66	14.2%
結果説明後に	100	21.5%
両方に	283	60.9%

具体的手法は？

パンフレット、結果説明書を活用	154	33.1%
カウンセリング	50	10.8%
予防法を中心に説明	46	9.9%
リスク行動の振り返り	32	6.9%



G. 対応困難者の経験はありますか？

ある	216件	43.8%
ない	257件	52.1%
不明	20件	4.1%

対応困難者の紹介先はありますか？

(n=493)

ある	106件	21.5%
ない	320件	64.9%
不明	67件	13.6%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？(複数回答あり)

(n=106)

医療機関	57件	53.8%
NGO等	32件	30.2%
その他	54件	50.9%

H. 昨年1年間に妊婦さんの相談事例はありましたか？

(n=493)

ある	38件	7.7%
→1件	27件	
→2~4件	5件	
→件数不明	6件	
ない	432件	87.6%
不明	23件	4.7%

I. 昨年1年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？

ある	43件	8.7%
→1件	32件	
→2~4件	6件	
→件数不明	5件	
ない	425件	86.2%
不明	25件	5.1%

J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

(n=493)

通常通り行う	360件	73.0%
受け付けない	件	0.0%
特別な配慮をする	113件	22.9%
→陽性時には親にも説明	38件	33.6%
→保護者の同意を得られているか	22件	
→保護者同伴	19件	16.8%

⑥ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=493)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	484	98.2%
HIVについてあった	1	0.2%
STIIについてあった	4	0.8%

## 保健所における HIV 検査・相談体制に関する調査

\* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

保健所名: \_\_\_\_\_ 所属: \_\_\_\_\_  
 連絡担当者名: \_\_\_\_\_ 職種: 医師・保健師・事務・その他( \_\_\_\_\_ )  
 連絡先: TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

1. 貴保健所では HIV 検査相談を行っていますか? ( はい ・ いいえ )

「はい」と答えた保健所 → 平成 25 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。

- ① HIV 検査件数: 検査数 件 スクリーニング検査で陽性 件 確認検査陽性 件  
 ② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: \_\_\_\_\_ 件  
 ③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数: \_\_\_\_\_ 件  
 ④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? ( ある ・ ない )  
 「ある」と答えた保健所 → 具体的に教えて下さい( \_\_\_\_\_ )  
 ⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: \_\_\_\_\_ 件  
 ⑥ 確認検査陽性で、保健所が感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 \_\_\_\_\_ 件

2. 貴保健所で行っている HIV 検査相談事業の内容について教えて下さい。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常(即日)(定期)イベント)検査: (火曜日・(月)年) 4 回 受付時間: 13:00 ~ 15:00  
 (通常・即日)(定期・イベント)検査: \_\_\_\_\_ 曜日/(月・年) \_\_\_\_\_ 回 受付時間: \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_  
 (通常・即日)(定期・イベント)検査: \_\_\_\_\_ 曜日/(月・年) \_\_\_\_\_ 回 受付時間: \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_  
 (通常・即日)(定期・イベント)検査: \_\_\_\_\_ 曜日/(月・年) \_\_\_\_\_ 回 受付時間: \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか?

( 行っていない ・ 行っている → ( 毎回 ・ イベント (年 回) )

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

( 梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他 \_\_\_\_\_ )

ア. 通常検査を行っている場合

- A. 予約制ですか? ( はい ・ いいえ )  
 B. 1回あたり上限数がありますか? ( はい → ( \_\_\_\_\_ )人 ・ いいえ )  
 C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? ( はい ・ いいえ )  
 D. 結果返しは? ( 1週間後 ・ 2週間後 ・ \_\_\_\_\_ 日後以降 )  
 E. スクリーニング検査実施施設は?  
 ( 自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名: \_\_\_\_\_ ) )  
 F. スクリーニング検査の方法は?  
 ( PA 法 ・ IC 法 (ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法 ) ・ その他( \_\_\_\_\_ ) )  
 G. 確認検査の実施施設は?  
 ( 自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名: \_\_\_\_\_ ) )  
 H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。  
 a. 受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する。  
 b. スクリーニング検査陽性の場合確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。  
 ( 採血は? → スクリーニング検査用 1 本のみ ・ スクリーニング検査用と確認検査用で 2 本 )  
 c. その他( \_\_\_\_\_ )

イ. 即日検査を行っている場合

- A. 予約制ですか? ( はい ・ いいえ )  
 B. 1回あたり上限数がありますか? ( はい ( \_\_\_\_\_ )人 ・ いいえ )  
 C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? ( はい ・ いいえ )

- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（1週間後・2週間後・\_\_\_日後以降）
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自保健所職員（検査担当職員・医師・保健師・その他\_\_\_\_\_）
- b. 臨時雇用（検査担当職員・医師・保健師・その他\_\_\_\_\_）
- c. 外部委託（機関名\_\_\_\_\_）
- F. 確認検査の実施施設は？
- （自保健所・他保健所・衛生研究所・外部委託（機関名：\_\_\_\_\_））
- G. 確認検査用の検体は？
- （迅速検査の残血液・確認検査用に採血 →（迅速検査用と同時・結果通知後））
- ③ 確認検査の方法を教えてください（ア. 通常検査を行っている場合、イ. 即日検査を行っている場合共通）。
- （WB法のみ・2次スクリーニング検査+WB法・WB法+NAT法  
・2次スクリーニング検査+WB法+NAT法・その他（\_\_\_\_\_））
- ④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。
- （性別・年齢・年代・居住地域・受検の動機・感染リスク・性的指向  
・感染機会の時期・今回の検査の情報源・その他（\_\_\_\_\_））
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（している・していない）
- ⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H24年4月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の1事業実施回当たりの担当者は？
- \* 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「陰性結果通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「迅速検査陽性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「確認検査陰性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「確認検査陽性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「迅速検査陽性」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）
- 具体的には？（\_\_\_\_\_）、手渡し資料は？（ある・ない）
- 「確認検査陽性」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）
- 具体的には？（\_\_\_\_\_）
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ある・ない）
- C. 陽性者への説明資料はありますか？（ある（具体的に：\_\_\_\_\_）・ない）
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？（ある（具体的に：\_\_\_\_\_）・ない）
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- （必ず行う・ほぼ行う・行わない・紹介先医療機関に依頼する）
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」を選択した場合、理由を教えてください。
- （理由：\_\_\_\_\_）
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（している・していない）
- 「している保健所」→ 対象は？（全員・一部）、場面は？（検査前・結果説明後・両方）
- 具体的手法は？（具体的に：\_\_\_\_\_）
- G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ある・ない）
- 対応困難者の紹介先はありますか？（ある・ない）
- 「ある」と答えた保健所 →（紹介先全てに○：医療機関（診療科\_\_\_\_\_）・NGO・その他\_\_\_\_\_）
- H. H25年1～12月に妊婦さんからの相談事例はありましたか？（ある（件）・ない）
- I. H25年1～12月に妊婦さんの検査受検はありましたか？（ある（件）・ない）
- J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- （通常通り行う・受け付けない・特別な配慮をする→（具体的に：\_\_\_\_\_））
- ⑥ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて教えてください。
- H25年1～12月にHIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- （あった →（HIVについて・性感染症について）・なかった）
- ⑦ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成 26 年 1 月 6 日

各 保 健 所 長 様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業  
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班  
(研究代表者 加藤真吾)  
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学 教授)

HIV 検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年度、全国保健所長会のご協力を得て行った、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査結果につきましては、全国保健所長会のサイト【トップページ右中段“Key Word”：HIV 関連→平成 24 年度「HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査の結果」([http://www.phcd.jp/02/kenkyu/kouseiroudou/pdf/hiv\\_tmp01\\_H24.pdf](http://www.phcd.jp/02/kenkyu/kouseiroudou/pdf/hiv_tmp01_H24.pdf))】に掲載させて頂きましたのでご一読いただければ幸いです。

また、本年度も継続してアンケート調査を行うことになりました。本調査は保健所における HIV 検査・相談 (HIV 検査と同時にを行う性感染症検査を含む) および結果通知の体制を把握し、今後の HIV 検査・相談の更なる向上の参考とするために実施しております。年度末で大変お忙しいところ恐縮ではありますが、本調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

別紙のアンケート用紙にご回答の上、平成 26 年 1 月 24 日 (金)までに、返信用封筒にてご返信いただくようお願い申し上げます。また、一つの保健所で複数の HIV 検査相談施設 (保健所支所、保健センター等) を管轄している場合には、大変申し訳ありませんが、アンケート用紙をコピーの上、各施設単位でアンケートのご回答をしていただけますようよろしくお願い致します。

#### 記

- 1 調査目的 保健所における HIV 検査 (HIV 検査と同時にを行う性感染症検査を含む) の検査体制および結果通知に関する体制の現状を調査する。
- 2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV 検査相談事業担当者
- 3 調査票回答期限 平成 26 年 1 月 24 日 (金)
- 4 調査票回答方法  
返信用封筒による郵送  
宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1  
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信  
(締め切り期日が迫っている場合、下記のメールアドレス経由でご回答頂いても結構ですが、その場合も返信用封筒による郵送での回答も必ずお願い致します。)  
(宛先) Email: [kensahan@m10.alpha-net.ne.jp](mailto:kensahan@m10.alpha-net.ne.jp)

(本調査に関する問い合わせ先)  
下記メールにより今井光信宛にお願い致します。  
Email: [kensahan@m10.alpha-net.ne.jp](mailto:kensahan@m10.alpha-net.ne.jp)

## 特設 HIV 検査施設における HIV 検査体制に関する調査

\* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

検査施設名:

連絡担当者名: 職種: 医師・保健師・事務・その他( )

連絡先: TEL FAX E-mail

1. 貴施設ではいつから HIV 検査を行っていますか? ( 年から )

平成 25 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。

① HIV 検査件数: 検査数 件 スクリーニング検査で陽性 件 確認検査陽性 件

② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: 件

③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数: 件

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? ( ある ・ ない )

「ある」と答えた施設 → 具体的に教えて下さい( )

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 件

⑥ 確認検査陽性中、感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 件

2. 貴施設で行っている HIV 検査事業の内容について教えてください。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常(即日)(定期)イベント)検査: (火曜日・(月)年) 4 回 受付時間: 13:00 ~ 15:00

(通常・即日)(定期・イベント)検査: 曜日/(月・年) 回 受付時間: : ~ :

(通常・即日)(定期・イベント)検査: 曜日/(月・年) 回 受付時間: : ~ :

(通常・即日)(定期・イベント)検査: 曜日/(月・年) 回 受付時間: : ~ :

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか?

( 行っていない ・ 行っている → ( 毎回 ・ イベント (年 回) )

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

( 梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他 )

ア. 通常検査を行っている場合

A. 予約制ですか? ( はい ・ いいえ )

B. 1回あたり上限数がありますか? ( はい → ( )人 ・ いいえ )

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? ( はい ・ いいえ )

D. 結果返しは? ( 1週間後 ・ 2週間後 ・ 日後以降 )

E. スクリーニング検査実施施設は?

( 自施設 ・ 他施設 (機関名: ) )

F. スクリーニング検査の方法は?

( PA 法 ・ IC 法(ダイナスクリン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他( ) )

G. 確認検査の実施施設は?

( 自施設 ・ 他施設 (機関名: ) )

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。

a. 受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する。

b. スクリーニング検査の残検体で確認検査まで実施し、受検者には確認検査結果を通知する。

( 採血は? → スクリーニング検査用 1 本のみ ・ スクリーニング検査用と確認検査用で 2 本 )

c. その他( )

イ. 即日検査を行っている場合

A. 予約制ですか? ( はい ・ いいえ )

B. 1回あたり上限数がありますか? ( はい ( )人 ・ いいえ )

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? ( はい ・ いいえ )

- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（ 1週間後 ・ 2週間後 ・ \_\_\_\_日後以降 ）
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自施設職員 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他\_\_\_\_\_ ）
- b. 臨時雇用 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他\_\_\_\_\_ ）
- c. 外部委託 （機関名 \_\_\_\_\_ ）
- F. 確認検査の実施施設は？
- （ 自施設 ・ 他施設 （機関名： \_\_\_\_\_ ） ）
- G. 確認検査用の検体は？
- （ 迅速検査の残血液 ・ 確認検査用に再採血 → （ 迅速検査用と同時 ・ 結果通知後 ） ）
- ③ 確認検査の方法を教えてください（ア. 通常検査を行っている場合、イ. 即日検査を行っている場合共通）。
- （ WB法のみ ・ 2次スクリーニング検査+WB法 ・ WB法+NAT法  
・ 2次スクリーニング検査+WB法+NAT法 ・ その他（ \_\_\_\_\_ ） ）
- ④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。
- （ 性別 ・ 年齢 ・ 年代 ・ 居住地域 ・ 受検の動機 ・ 感染リスク ・ 性的指向  
・ 感染機会の時期 ・ 今回の検査の情報源 ・ その他（ \_\_\_\_\_ ） ）
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（ している ・ していない ）
- ⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H24年4月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の1事業実施回当たりの担当者は？
- \* 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「陰性結果通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ \_\_\_\_\_ ）（人） ）
- 「迅速検査陽性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ \_\_\_\_\_ ）（人） ）
- 「確認検査陰性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ \_\_\_\_\_ ）（人） ）
- 「確認検査陽性通知」→（ 人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（ \_\_\_\_\_ ）（人） ）
- 「迅速検査陽性」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）
- 具体的には？（ \_\_\_\_\_ ）、手渡し資料は？（ ある ・ ない ）
- 「確認検査陽性」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）
- 具体的には？（ \_\_\_\_\_ ）
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ ある ・ ない ）
- C. 陽性者への説明資料はありますか？（ ある（具体的に： \_\_\_\_\_ ） ・ ない ）
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？（ ある（具体的に： \_\_\_\_\_ ） ・ ない ）
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- （ 必ず行う ・ ほぼ行う ・ 行わない ・ 紹介先医療機関に依頼する ）
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」を選択した場合、理由を教えてください。
- （理由： \_\_\_\_\_ ）
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（ している ・ していない ）
- 「している施設」→ 対象は？（ 全員 ・ 一部 ）、場面は？（ 検査前 ・ 結果説明後 ・ 両方 ）
- 具体的手法は？（ 具体的に： \_\_\_\_\_ ）
- G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ ある ・ ない ）
- 対応困難者の紹介先はありますか？（ ある ・ ない ）
- 「ある」と答えた施設 →（紹介先全てに○：医療機関（診療科 \_\_\_\_\_ ）・NGO・その他 \_\_\_\_\_ ）
- H. H25年1～12月に妊婦さんからの相談事例はありましたか？（ ある（ \_\_\_\_\_ 件） ・ ない ）
- I. H25年1～12月に妊婦さんの検査受検はありましたか？（ ある（ \_\_\_\_\_ 件） ・ ない ）
- J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- （ 通常通り行う ・ 受け付けない ・ 特別な配慮をする →（具体的に： \_\_\_\_\_ ） ）
- ⑥ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて教えてください。
- H25年1～12月にHIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- （ あった →（ HIVについて ・ 性感染症について ） ・ なかった ）
- ⑦ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成26年 1月 6日

関係者の皆様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業  
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班  
(研究代表者 加藤真吾)  
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学 教授)

HIV 検査に関するアンケートのお願い(依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班」では、現在、保健所に対し、全国保健所長会のご協力を得て、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」を昨年に引き続き実施しているところであります。

つきましては、保健所以外の特設の HIV 検査相談施設に関しましても、保健所へのアンケート調査に準じたアンケート調査を本年も実施させていただきたく、大変お忙しいところ恐縮ですが、本調査にご協力の程よろしくお願い致します。

なお、別紙のアンケート用紙を平成26年 1月24日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返信いただけますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 調査目的 特設 HIV 検査相談施設における HIV 検査 (HIV 検査と同時に行う性感染症検査を含む) の検査体制および結果通知に関する体制の現状を調査する。
- 2 調査票回答者 特設 HIV 検査相談施設の責任者 あるいは  
委託元 HIV 検査相談事業の責任者または担当者
- 3 調査票回答期限 平成26年 1月24日 (金)

4 調査票回答方法

返信用封筒による郵送

宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1

田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信

(締め切り期日が迫っている場合、下記のメールアドレス経由でご回答頂いても結構ですが、その場合も返信用封筒による郵送での回答も必ずお願い致します。)

(宛先) Email: [kensahan@m10.alpha-net.ne.jp](mailto:kensahan@m10.alpha-net.ne.jp)

(本調査に関する問い合わせ先)

下記メールにより今井光信宛にお願い致します。

Email: [kensahan@m10.alpha-net.ne.jp](mailto:kensahan@m10.alpha-net.ne.jp)

## 保健所における HIV 検査体制に関する全国調査

## 妊婦 HIV 検査相談に関する設問への回答(H24 年度)に対する 2 次調査の結果

## 【目的】

保健所において HIV 検査相談を受けた妊婦について、どのような理由と経緯で保健所の相談・検査を受けるに至ったかを調査することにより、保健所における妊婦に対する HIV 検査相談の意義を明らかにするとともに、産婦人科医療機関における HIV 検査対応のあり方を検討する際の参考資料とする。

\* 本調査は厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」および厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」の共同研究として実施した。

## 【方法】

平成 24 年度「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」のアンケート調査に回答した保健所 481 施設のうち、設問 2. ④「H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？」あるいは「I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？」に「ある」と回答した保健所 53 箇所に対して調査票を送り、妊婦が保健所で HIV の相談・検査を受けた理由と経緯について調査した。

(アンケート回答数)

H. 昨年 1 年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？ 「あり」の回答保健所数 40 箇所  
I. 昨年 1 年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？ 「あり」の回答保健所数 39 箇所

<調査票送付保健所数>

相談のみ	14 箇所
検査のみ	13 箇所
相談・検査 重複回答	26 箇所
合計	53 箇所

## 【結果】

調査票を送付した保健所 53 箇所のうち 34 箇所(64%)から回答があった。相談のみ事例が 12 例、検査のみ事例が 8 例、相談+検査事例が 14 例であった。保健所で検査相談を受けた理由としては、他の感染症に感染しているためも含め、HIV 感染に対する心配によるものがその多くを占めていたが、医療機関で保健所の検査を受けるよう勧められた例も見られた(表 1、2、3)。

<回答事例数>

相談のみ	12 例
検査のみ	8 例
相談・検査事例	14 例
合計	34 例

## 【まとめ】

妊婦は産科医療機関において HIV 検査を受ける機会があるが、HIV の感染不安から保健所での検査・相談を希望する例が少なからずあることが分かった。保健所は妊婦の場合においても、時に、その感染不安に対応するための HIV 検査相談検査機関として重要な役割を果たしていることがわかった。また、産科医療機関において、HIV スクリーニング検査やスクリーニング検査陽性後の確認検査を保健所で受けるよう妊婦に勧める事例が現在でも少数ながら存在していることも分かった。妊婦における HIV 感染の状況や HIV 感染不安への対応については今後とも注視していく必要があると思われる。



表1

## 妊婦のHIV/エイズの相談事例(相談のみ) 12例

【年代】	26～35歳	4例
	20～30代	1例
	16～45歳	2例
	不明	5例

【国籍】	日本籍	9例
	不明	3例

【妊娠月数】	10ヶ月	2例
	不明	10例

【産科受診】	あり	8例
	なし	1例
	不明	3例

【相談内容】  
(複数回答可)

①妊娠したがHIV感染が心配	6例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院でHIVAg-Ab検査を実施し、結果について相談。(電話相談)</li> <li>・産科で検査をする前に保健所で検査をして心の準備をしておきたいという理由。</li> <li>・産科でHIV検査をしたが、まだ結果が出ていない。結果日まで待てず保健所の即日検査を受けにきた。</li> <li>・妊婦健診後にも夫と数回の性交渉がある。(夫の風俗店利用を疑っている)</li> <li>・特に理由はないが、検査を受けて安心したい。</li> <li>・医療機関で採血した際、対応したNSが手袋をしていなかったため</li> </ul>	
②他の性感染症に感染している	0例
③中絶を検討している	1例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中絶に際し、主治医からHIV検査必要と言われたので来所された。(検査日ではなかったため、HIV検査せず)</li> </ul>	
④医療機関から保健所に相談するように勧められた	0例
⑤その他	5例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診のHIV検査で判定保留となり、精神的に不安定になっており、陽性となる確率を知りたい。</li> <li>・妊婦健診でウエスタンブロット法で判定保留となった。陽性となる確率を知りたい。</li> <li>・検査希望。妊婦健診で受検できることを説明。保健所では検査せず。(記録がないため、詳細は不明)</li> <li>・HIV検査は市外の保健所でも受けられるか。</li> <li>・自分が陰性であればパートナーも陰性と考えてよいのか。</li> </ul>	

表2

## 妊婦のHIV検査事例(検査のみ) 8例

【年代】	26～35歳	6例
	16～25歳	2例

【国籍】	日本籍	7例
	不明	1例

【妊娠月数】	～5週	2例
	4ヶ月	1例
	不明	5例

【産科受診】	あり	4例
	なし	1例
	不明	3例

【パートナーの同伴検査】	あり	3例
	なし	4例
	不明	1例

【HIV/エイズ相談】	あり	0例
	なし	6例
	不明	2例

【検査理由】 (複数回答可)	①妊娠したがHIV感染が心配	1例
	・夫がタイで遊んだと言われ心配して来所	
	②他の性感染症に感染していたため	1例
	・妊婦健診で他の性感染症(クラミジア)に感染していることが判明したので、パートナーと一緒に保健所で検査をしてもらうようにと主治医から説明があった。	
	③医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため	1例
	・妊婦健診で他の性感染症(クラミジア)に感染していることが判明したので、パートナーと一緒に保健所で検査をしてもらうようにと主治医から説明があった。	
	④医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため	1例
	⑤まだ医療機関に受診していないため	0例
	⑥検査を受けたいがどこで受けたらよいか分からないため	0例
⑦妊娠後の性交渉による新たなHIV感染が心配なため	0例	
⑧中絶を検討しているため	0例	
⑨その他	5例	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫に検査をすすめられて受検</li> <li>・パートナーが梅毒治療中であるため</li> <li>・念のため。家族に保健所でHIV検査をしていると聞き受検。</li> <li>・結婚、出産前に一度調べておきたい。</li> <li>・今まで2回出産時に検査しており、今回も出産前にしておきたいと思った。</li> </ul>		

表3

## 妊婦のHIV検査相談事例(相談+検査) 14例

【年代】	26～35歳	8例
	20～30代	2例
	16～25歳	2例
	36～45歳	2例

【国籍】	日本籍	12例
	不明	2例

【妊娠月数】	～9週	3例
	4ヶ月	2例
	6ヶ月	1例
	9ヶ月	2例
	不明	6例

【産科受診】	あり	11例
	なし	1例
	不明	2例

【パートナーの同伴検査】	あり	1例
	なし	13例

【HIV/エイズ相談】	あり	12例
	なし	2例

【検査理由】 (複数回答可)	①妊娠したがHIV感染が心配	5例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に性交渉した友人がパートナーが多かった</li> <li>・手湿疹がひどく、皮膚がいつもカサカサしている。コンビニのトイレを利用した際に血液の付着したドアノブに触れてしまい、感染が気になる。</li> <li>・夫の元彼女がHIV陽性と判明</li> <li>・産科でHIV(-)を確認した後に夫のクラミジア発症があったため</li> </ul>	
	②他の性感染症に感染していたため	1例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラミジア</li> </ul>	
	③医療機関で保健所に検査に行くように勧められたため	1例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診の採血検査でHIV検査(スクリーニング検査)にて陽性だったので、保健所で検査を受けるようにと医療機関の看護師から電話で告げられた。</li> </ul>	
	④医療機関では検査は有料であるが保健所では無料なため	2例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診の検査項目について。</li> <li>・産科でHIV(-)を確認した後に夫のクラミジア発症があったため</li> </ul>	
⑤まだ医療機関に受診していないため	1例	
⑥検査を受けたいがどこで受けたらよいのか分からないため	1例	
⑦妊娠後の性交渉による新たなHIV感染が心配なため	1例	
⑧中絶を検討しているため	0例	

## ⑨その他

11例

- ・妊娠届けを出したらHIV検査の予定が記載あり、感染が思い当たる行為はないが、ネットで調べる中で自分はエイズなんだと思うようになり、心配で仕方がなかった。
- ・産科でHIV(-)を確認した後に夫のクラミジア発症があったため
- ・妊娠3か月ごろに妊婦健診での血液検査があるが陽性と出ることが心配なので早く検査を受けたい。
- ・妊婦健診でHIV(-)。院内感染対策で相手方にHIV検査をしてもらうための同意を得ておらず、感染の有無がわからない状況。出産予定日でも感染の可能性ある時から12Wに満たない⇒出産直前に検査を受けることになっているが、それまでも不安。本人の強い希望あり、検査を実施。
- ・妊婦健診の検査項目について。
- ・海外に在住で一時帰国中。海外の病院にて妊婦検診時のHIV抗体検査未検のため。
- ・妊婦健診を実施後、他人の血液に触れたことがあったため。
- ・妊婦健診でスクリーニング検査を行った医療機関での確認検査を希望したが断られた。
- ・妊婦健診の項目にHIV検査がなかったため。(本人が記憶している範囲で)
- ・妊娠初期のスクリーニングで偽陽性で確認検査は陰性だったが、不安なためもう一度保健所で検査したい